

年報

No. 25



平成 6 年度
佐賀県立博物館
佐賀県立美術館

はじめに

博物館を開館して24年、美術館を開館して11年を迎えました。その間、館事業について多くの課題を抱えながら今日に至っておりますが、これまでの館運営におきまして、県民の方をはじめ多くの関係者のご支援とご協力をいただいていることに対してここに厚くお礼を申しあげます。

さて、このたび年報25号を刊行することになりました。常設展では、各分野（自然史、考古、歴史、美術・工芸、民俗）ごと「佐賀県の歴史と文化」を基本テーマにしながらも、各々年5回程の展示がえを行いました。その中でも「常設特別展」として博物館では「脊振山系の仏教美術」展を3号室にて開催しました。美術館では、「新郷土表紙原画」展を開催し好評を得ました。

「企画展」は、「百花繚乱の世界」展を美術館で、「戦国を駆ける武将たち」展を博物館で開催し、多くの入館者を迎えることができました。

また、他団体との共催企画展として「バスキンとエコール・ド・パリの異邦人たち」展を正月2日から開館し、2日間で4,000人以上の入館者があり、好評を得ました。さらに、民間の70ほどの団体の企画展が盛況に開催され、県民の鑑賞に大いに供されましたことは、誠に喜ばしい限りであります。

最後になりましたが、美術館ホール、画廊、研究室、茶室も多くの方に利用していただきましたことに対してお礼を申しあげます。

今年度は博物館25周年を迎え、自然史分野の記念展を企画しておりますが、博物館、美術館が一層親しまれるように、館事業の充実を図っていく所存でありますので、今以上のご指導ご支援をお願いいたします。

平成7年8月31日

佐賀県立博物館長 深川弘一
佐賀県立美術館長

目 次

佐賀県立博物館及び美術館日誌	4
同組織／職員名簿／人事異動	6
同協議会委員	7

佐賀県立博物館

博物館の沿革	9
規模および施設／収出予算	10
事業の実施状況	
1 常設展	11
2 企画展「戦国を駆ける武将たち」	16
3 資料調査	16
4 観覧状況	18
5 普及活動	20
資料の概要	
1 購入資料	22
2 寄贈資料	22
3 寄託資料	23
4 資料の貸出状況	24
5 購入図書	24
茶室「清恵庵」の管理と運営の概要	25

佐賀県立美術館

美術館の沿革	27
規模および施設／収出予算	28
事業の実施状況	
1 常設展	29
2 所蔵名品巡回展	35
3 企画展	
・百花繚乱の世界 「一江戸・化政期の絵画一」展	36
4 普及活動	37
5 資料調査	37
6 観覧状況	38
7 ホール・画廊・研修室利用状況	48
資料の概要	
1 新収蔵（購入・寄贈）資料	49
2 資料の貸出貸出状況	65
3 購入図書	65
平成7年度職員名簿	66

佐賀県立博物館および佐賀県立美術館日誌

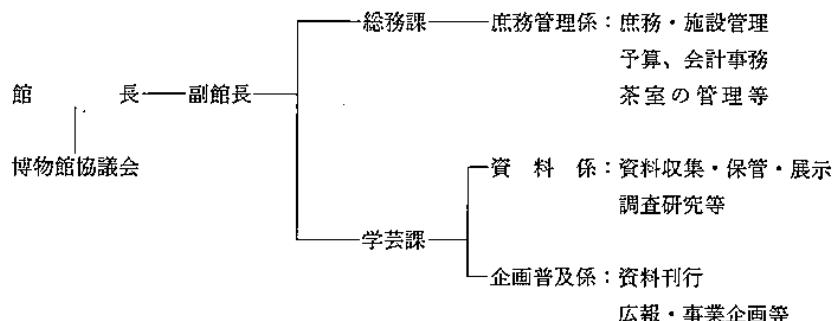
平成 6 年度美術館第 1 期常設展 (～5 月 15 日)。

平成 6 年

- 4 月 1 日 職員人事異動 (5 ページ参照)。
- 4 月 9 日 平成 6 年度博物館第 1 期常設展 (～5 月 22 日)。
- 5 月 5 日 常設展無料開放 (こどもの日)、入館者数博物館 644 名、美術館 508 名。
- 5 月 14 日 野外観察会「お堀の生き物を調べよう」参加者数 104 名。
- 5 月 18 日 平成 6 年度美術館第 2 期常設展 (～7 月 3 日)。
- 5 月 21 日 柚比本村遺跡速報展 (中展示室 13:00～15:00) 見学者 841 名。
- 5 月 22 日 柚比本村遺跡速報展 (中展示室 13:00～15:00) 見学者 1,440 名。
- 5 月 27 日 平成 6 年度博物館第 2 期常設展 (～7 月 10 日)。
- 6 月 13 日 美術館収蔵庫蒸消毒 (～16 日まで)。
- 7 月 6 日 平成 6 年度美術館第 3 期常設展 (～8 月 31 日)。
- 7 月 7 日 博物館実習開講 (～7 月 19 日)。受講者 18 名。
- 7 月 15 日 平成 6 年度博物館第 3 期常設展 (～8 月 28 日)。
- 〃 美術館椅子張替工事。
- 7 月 18 日 美術館実技講座 デッサン教室開講 (～7 月 22 日)、受講者 32 名、講師 深川直人氏。
- 7 月 22 日 美術館所蔵品巡回展「夏の美術館」(～8 月 7 日) 開場式。於・河村美術館。
第 1 回県内社寺調査委員会。
- 7 月 27 日 韓国嶺南考古学会一行 (53 名) 博物館見学。
- 7 月 30 日 博物館講座「佐賀のトンボ相とお堀のトンボウォッチング」、受講者 25 名。
- 8 月 6 日 夏休み母と子の映画会 (～7 日)。
- 〃 博物館講座「農耕図絵馬にみる佐賀の農具」、受講者 7 名。
- 8 月 20 日 博物館講座「滝城遺跡と環濠集落」、受講者 8 名。
- 8 月 26 日 第 1 回博物館・美術館協議会。
- 8 月 27 日 上海自然博物館一行 (4 名) 来館。
- 〃 博物館講座「古鏡の語るもの」、受講者 26 名。
- 9 月 10 日 第 44 回佐賀県美術展覧会 (～9 月 18 日)。
- 9 月 23 日 平成 6 年度美術館第 4 期常設展 (～11 月 13 日)。
- 〃 平成 6 年度博物館第 4 期常設展 (～11 月 27 日)。
- 10 月 4 日 同和問題研修会、(講師 久保田町教育委員会社会教育指導員 藤川幹史氏)。
- 10 月 6 日 美術館企画展「百花繚乱の世界—江戸化政期の絵画—」開場式。(10 月 7 日～11 月 13 日)
釜山直轄市立博物館長来館。
- 10 月 13 日 ニューヨークタイムスアジア代表ヘンリー・ストークス氏来館。
- 10 月 14 日 美術館所蔵品巡回展「秋の美術館」(～11 月 3 日) 開場式。於伊万里市民センター。
- 10 月 15 日 美術館企画展記念講演会「化政文化の真髓」(東京教育大学名誉教授 西山松之助氏)。
夫人西山フミ氏 (佐賀錦織り手重要無形文化財) を佐賀県知事表敬訪問。
- 10 月 15 日～16 日 宇和島市立伊達博物館企画展「宇和島伊達・佐賀鍋島ゆるぎなき縁」
(会期 10 月 20 日～11 月 23 日) 館蔵資料約 100 点貸し出し。
- 10 月 20 日 大英博物館ハリス氏来館。
- 10 月 30 日 美術館所蔵品巡回展記念講演会「佐賀の文化土壤」(佐賀新聞社報道部長 简井泰彦氏)。
- 11 月 3 日 博物館常設展無料開放 (文化の日)、入館者数 130 名。

- 11月 6 日 韓国济州道文化芸術団来館。
- 11月14日 博物館 3 号、大展示室の火災報知器工事及び階段部照明工事。
- 11月15日 博物館、美術館屋上塗装工事（～11月17日）。
- 11月19日 平成 6 年度美術館第 5 期常設展（～2 月 5 日）。
- 11月21日 博物館 3 号、大展示室の火災報知器改修工事。
- 11月24日 次年度博物館企画展「知られざるふるさとの自然史」第 1 回企画委員会。
- 12月 2 日 平成 6 年度博物館第 5 期常設展（～1 月 22 日）。
- 12月26日 消防訓練。
- 平成 7 年
- 1月 2 日～3 日 常設展正月無料開放。入館者数1,441名。
- 1月15日 常設展無料開放（成人の日）。入館者数1,742名。
- 2月 3 日 博物館企画展「戦国を駆ける武将たち一五州の太守 龍造寺隆信の時代ー」開場式。（2月3日～3月12日）。
- 2月 8 日 平成 7 年度展覧会日程調整会議。
- 2月11日 平成 6 年度美術館第 6 期常設展（～4 月 17 日）。
- 2月14日 英国アルバート博物館館長一行来館。
- 2月22日 第 2 回博物館・美術館協議会。
- 2月24日 次年度博物館企画展「知られざるふるさとの自然史」第 2 回委員会。
- 2月26日 博物館企画展記念講演会「川中島と三本の矢」（東京工業大学助教授 山室恭子氏）。
- 3月22日 同和問題研修会、（講師 佐賀部落開放研究所 中村久子氏）。
- 3月28日 平成 7 年度博物館第 1 期常設展（～5 月 14 日）。

組 織



博物館・美術館職員名簿(平成6年4月1日現在)

課名	職名	氏名	課名	職名	氏名
館 長	山本 敏秋		学芸課長	中牟田 賢治	
副館長	森 醇一朗		資料係長	蒲原 宏行	
総務課 庶務管理係	総務課長 (庶務管理係長事務取扱)	菊池 文夫	主査 (学芸員)	川副 義敦	
	専門員	一丸 正美	主事 (学芸員)	山崎 和文	
	主査	小林 静枝	主事 (学芸員)	竹下 正博	
	主事	赤星 由季子	非常勤嘱託	今川 泰靖	
	主事	石橋 邦広	企画普及係長	松本 誠一	
	技術員	近藤 誠徳	主査 (学芸員)	宮原 香苗	
	事務員	坂井 卓次	主査 (学芸員)	福井 尚寿	
	事務員	小石 武彦	主事 (学芸員)	中原 正登	
	非常勤嘱託	牟田 壽吉			計 21名

人 事 異 動(平成6年4月1日付)

転 入			転 出		
館長	山本 敏秋	議会事務局長より	館長	飯盛 邦尚	退職
学芸課長	中牟田 賢治	文化財課課長補佐より	学芸課長	木下 功	文化財課参事へ
主査	小林 静枝	総合運動場主査より	主査	東島 幸子	退職

佐賀県博物館及び美術館協議会

委員名簿（定数 14名）

(任期：平成6年7月25日～平成8年7月24日)

区分	氏名	役職名	住所
学校教育関係者	成富重行	県公民館連合会副会長	〒840 佐賀市昭栄町3-4
	真木昭男	県高等学校長協会理事	〒840 佐賀市北川副町木原100
	本山素淳	県小学校校長会理事	〒840-22 佐賀郡川副町大字鹿ノ江710
	森田喜久也	県理科教育振興会理事長	〒840 佐賀市本庄町大字袋369-7
学識経験者	松本シゲノ	県地域婦人連絡協議会会长	〒840 佐賀市嘉瀬元町2078
	大塙巖	県文化団体協議会会长	〒840 佐賀市本庄町大字本庄1137-23
	吉田進一	佐賀美術協会理事長	〒840-22 佐賀郡川副町犬井道47
	森木靖明	佐賀県議会議員	〒849-21 斧島郡大町町大字大町5155-129
	中村質	九州大学文学部教授	〒813 福岡市東区美和台7-13-8
	深川善次	佐賀美術協会理事	〒840-22 佐賀郡川副町大字南里557-3
	米倉利昭	佐賀大学教育学部教授	〒840 佐賀市赤松町7-17-302
	佐田茂	佐賀大学教育学部教授	〒815 福岡市南区高宮2-9-27-303
	志佐柳彦	嵌木町教育委員会文化財研究員	〒849-31 東松浦郡嵌木町卷木236-1
	吉野徳親	佐賀新聞社編集局長	〒840 佐賀市大財4-4-3

開催状況

(第1回)

・平成6年8月26日(金)、於：県立博物館 応接室

議題 (1) 平成6年度予算について

- (2) 博物館・美術館の入館者について
- (3) 平成6年度企画展及び美術館所蔵名品巡回展について
- (4) 平成7年度博物館企画展について
- (5) その他

(第2回)

・平成7年2月22日(水)、於：県立博物館 応接室

議題 (1) 平成7年度予算(案)について

- (2) 平成7年度企画展について
- (3) 博物館エレベーター新設について
- (4) 博物館・美術館の入館者について
- (5) その他

平成 6 年度

佐賀県立博物館

博物館の沿革

- 昭和26年4月1日 佐賀県文化館設置条例制定、佐賀県文化館が設置される。
- 昭和35年4月1日 佐賀県文化館設置条例を博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき佐賀県文化館を博物館として登録する。
- 昭和36年、新博物館建設の気運が高まり、41年度に調査費計上。
- 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定。昭和43年度に設計を委託し建設設計画に着手し、昭和43年度から昭和45年度にわたる継続事業として建設することとなる。
- 昭和44年1月21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和45年3月31日 佐賀県文化館設置条例廃止。
- 昭和45年4月1日 佐賀県博物館設置条例公布。佐賀県立博物館協議会条例公布。佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年7月1日 佐賀県立博物館完工。佐賀県立博物館設置条例施工。博物館開設準備事務局廃止。博物館職員の発令、館長以下18名。佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年7月16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月14日 佐賀県立博物館開館記念式典挙行。
- 昭和47年3月4日 鉄器減圧樹脂含浸装置を研究室に設置。
- 昭和48年10月10日 茶室「清恵庵」を、市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。
- 茶室落成式。
- 昭和50年9月20日 古賀忠雄作「岬の男」(ブロンズ)前庭に据付完成。
- 昭和51年9月18日 皇太子殿下、同妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館。
- 昭和51年10月22日 天皇陛下、皇后陛下「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館。
- 昭和52年12月12日 佐賀藩铸造鉄製「カノン砲」(復元)玄関前据付完了。
- 昭和53年5月4日 常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」ご観覧。
- 昭和53年11月5日 茶室「清恵庵」開室5周年記念合同茶会開催。出席者約1,500名。
- 昭和54年7月19日 入館者数100万名に達する。
- 昭和55年4月23日 古賀忠雄氏遺作(232点)遺族より寄贈。
- 昭和56年4月17日 山口猛彦氏遺作(34点)遺族より寄贈。
- 昭和57年5月10日 鍋島則子氏より工芸品(85点)寄贈。
- 昭和61年3月17日 佐賀植物友の会(須古将宏会長)から植物贈葉(さくようーおしば)18,000点の寄贈。
- 昭和62年5月23日 天皇陛下、「森林と文化展」ご観覧のためご来館。
- 昭和63年4月15日 入場者総数200万名に達する。
- 昭和63年8月31日 木材恒久保存処理機を導入。
- 平成2年3月31日 過去最高の入館者数189,000名を記録(平成元年度の入館者数)。
- 平成2年10月6日 佐賀県立博物館開館20周年記念「佐賀の名宝—いろとかたち—」展を開催。
- 平成4年3月30日 佐賀県立博物館及び佐賀県立美術館の使用料に関する条例の一部改正。
(高校生以下及び心身障害者等の無料化)(施行4.4.1)。
- 平成4年8月6日 第1回県内社寺調査委員会(以後、4年計画の調査に入る)。
- 平成4年8月11日 紀宮清子内親王殿下、御視察。
- 平成5年3月25日 空気調和設備改修。
- 平成7年1月2日~3日 常設展正月無料開放。入館者数1,441名。

規模および施設

本館		施設	
構造	鉄筋コンクリート造	3階建	ロビー(案内所・常設展受付) 349.5m ²
規模	敷地面積 30,926.0m ²	1号展示室 193.6m ²	
	建築面積 2,149.1m ²	2号展示室 352.0m ²	
	延床面積 4,638.0m ²	3号展示室 484.0m ²	
茶室		大展示室 523.5m ²	
		中展示室(博物館教室) 136.0m ²	
		収蔵庫並整理室 524.0m ²	
		研究室 66.0m ²	
		館長室・応接室 60.0m ²	
構造	木造平屋建	事務室 80.0m ²	
規模	床面積 57.35m ²	資料調査室 64.0m ²	
		茶道具庫 24.0m ²	
		車庫 56.0m ²	
		荷解場 86.0m ²	
駐輪場		電気室 48.0m ²	
		ボイラー室(制御室を含む) 181.0m ²	
構造	軽量鉄骨平屋建	その他 1,410.4m ²	

歳出予算

科 目	予算額(単位千円)	科 目	予算額(単位千円)
(博物館費)			
1 博物館運営費	41,022	4 企画展費	18,613
管理運営費	37,696	企画展開催費	16,067
会議及び研修費	495	企画展調査準備費	855
博物館協議会費	423	企画展紹介費	1,691
非常勤嘱託報酬	2,408	5 常設展費	2,429
2 資料整備費	15,359	常設展示費	2,429
資料購入費	8,000	6 普及活動費	35
資料整備費	7,134	研究講座費	35
資料収集費	225	7 資料刊行費	468
3 調査研究費	803	8 茶室管理費	172
研究費	146	9 施設整備費	22,170
調査費	657	10 佐賀県寺社資料調査費	3,000
次年度調査費	113		
歴史美術調査費	75		
考古資料調査費	34		
調査刊行費	435	計	104,071

事業の実施状況

1. 常設展「佐賀の歴史と文化」

会場 1号・2号・3号・大展示室

内容 自然（1号）・考古（2号）・歴史（2号）・美術（3号）・民俗（大展）の順に展示し、各分野の展示資料、解説を通して、佐賀県の歴史と文化を紹介した。概要は以下の通り。

I 佐賀県の自然

佐賀県は九州の北西部に位置し、北東部は福岡県、西部は長崎県に隣接する。北は対馬暖流が北上する玄海灘に面し、南は日本一の干満の差で有名な有明海が広がっている。

佐賀県を地形的に大別すると、脊振山地、西部丘陵地、多良火山地、佐賀平野の4地域に分けられる。脊振山地は県北部に横たわる脊振山、金山、九千部山などの山地で、古生代末期の三郡變成岩類と、これに貫入した中生代白亜紀の花崗岩類で構成されている。西部丘陵地は八幡岳・黒髪山・国見山などを含む溶岩台地で、新生代第三紀の堆積岩類と、その上に噴出した第三紀末から第四紀初めの各種火山岩類で構成されている。玄海灘に面した北西海岸はリアス式海岸で、島嶼部は西部丘陵地溶岩台地の延長とみられる。多良火山地は、佐賀県最高峰の経ヶ岳・多良岳など第四紀初期に形成された安山岩質の成層火山と溶岩台地で構成されている。佐賀平野は新生代第四紀沖積世に、筑後川・嘉瀬川・六角川などによってつくられた複合三角洲で、表層は有明粘土層で下層は洪積世の堆積物が存在する。

佐賀県産の化石は、新生代5000万年前以降にできた第三紀～第四紀の二枚貝・巻貝・オウムガイなどの軟体動物やサメの歯・ナウマンゾウ臼歯などの脊椎動物、メタセコイヤ・ハス・ヤナギ・珪化木などの植物の化石が産出する。

動物では、シギ・チドリ・カモ類など多くの渡り鳥の飛来地・休息地として有明海は日本有数の地であり、現在までに佐賀県から記録された野鳥は300種以上にのぼっている。県鳥カササギは、国の天然記念物として大切に保護されている。アリアケシラウオ・ヤマノカミ・ワラスボ・チクゴエビ・アリアケガニは有明海だけに生息する特産種であり、ムツゴロウは珍魚とし

て有名であるが減少がはなはだしく、県有明水産振興センターでは人工交配と実験をかけ、養殖による増殖を試みている。また「生きた化石」と呼ばれるオオシャミセンガイ・ミドリシャミセンガイ・伊万里湾のカブトガニ・脊振山地・多良火山地のムカシトンボは、中生代の生き残り生物として有名である。

植物では、山地に常緑広葉樹林を主とした自然林も点在しているが、ほとんどがスギ・ヒノキの人工林となっている。代表的な自然林は、脊振山地のブナ林、多良山地のモミ林、脊振山地・多良火山地・西部丘陵地のカシ林。玄海灘沿岸・島嶼部のタブ林などがある。佐賀県で発見された原産地植物としてはカネコシダ・クロカミラン・ハガクレカナワラビ・キュウシュウコゴメグサ・リュウゾウジヤナギ・クセンブツツヅなどがある。この他特筆すべき事項としてミツガシワやエヒメアヤメの自生、またクスノキは佐賀県を代表する樹木である。

① 佐賀県のおいたち

佐賀県地形模型、佐賀県の地質・地史

② 佐賀県の岩石

球状閃綠岩・花崗岩・石灰岩・火山弾 ほか

③ 佐賀県の化石

ヨコヤマオウムガイ・シキシマバス ほか

④ 佐賀県の植物

クロカミラン・カネコシダ・アオホラゴケ ほか

⑤ 佐賀県の昆虫類

チョウ・トンボ・甲虫類 ほか

⑥ 佐賀県の野鳥

カササギ・キジ・ヤマドリ・フクロウ ほか、

⑦ カブトガニの生態

⑧ 模型類

有明海干潟生態模型

エヒメアヤメ生態模型

森林の生態模型

森林の働きの模型

タイラノザウルス模型 ほか

また、下記のコーナー展示を行った。

「水辺の生き物たち（I）・（II）」（4/9～7/10）

佐賀県の水辺環境は、全国的に見てもきわめて豊かな水生生物が見られる。このうち、トンボやゲンゴロウなどの水生昆虫の標本のほか、淡水魚についてはア

リアケギバチ、ヤマノカミ、オヤニラミなどの絶滅の恐れのある貴重な淡水魚を生態展示した。

「昆虫の擬態 だましのテクニック」(7/15~8/28)

昆虫類に見られる擬態について、カムフラージュ、警戒色、模倣擬態、相互擬態などの例を、標本をとおして展示解説した。

「太古の巨木が教えること」(9/23~11/27)

上峰町の八藤遺跡の地下から見つかった、8万年前の阿蘇山の大噴火でなぎ倒された巨木の輪切りや、植物遺体などをとおして、当時の古環境を解説した。

「さがの化石」(12/2~1/22)

佐賀県から産出する化石をとおして、佐賀県の地質の成り立ちや古環境を解説した。

☆ 考古

旧石器時代・縄文時代

近年我が国の旧石器文化探求の勢いは目ざましく、10万年以前の前期旧石器文化の様相もかなり鮮明になりつつある。本県の資料は後期から終末期のものに限られるが、多久市鬼の鼻山（安山岩）や伊万里市腰岳（黒曜石）などの石器素材原産地を中心に特色ある石器文化が展開している。

縄文時代も基本的には採集経済の社会であったが、石器とともに土器が用いられるようになり、人々の食生活は一層安定した。

① 石器を使った人々—旧石器時代—

- 石器に使用された原石
- 旧石器時代末期の各種石器

② 土器を使うくらし—縄文時代—

- 縄文時代早～前期の土器と石器
- 縄文時代中期の土器と石器
- 縄文時代後～晩期の土器と石器

弥生時代・古墳時代

弥生時代になると水稻耕作中心の生産経済社会となり、各集落の統合・離反の中から、やがて部族国家が形成されてゆく。本県は特に大陸文化を受容し、それを日本化していく弥生文化搖籃の地として重要な位置を占める。

古墳時代は前方後円墳に象徴される権力者の抬頭と統一国家形成が進展した政治的激動期であった。同時に須恵器生産や製鉄に代表されるような先進技術が多

くの渡来人によってもたらされた時代でもあった。

① 水稻農耕社会の発展—弥生時代—

- 土器の変遷
- 大陸系磨製石器
- 青銅器武器から鐵製武器へ
- 弥生人の装身具
- 青銅の鏡（舶載鏡と曇製鏡）
- 弥生人のまつり（銅鐸・青銅製武器形祭器）

② 古墳が築かれた頃—古墳時代—

- 古墳時代前期の土器—土師器—
- 古墳時代後期の土器—須恵器—
- 古墳時代の鏡
- 古墳時代の武器
- 古墳時代の馬具
- 古墳時代の装身具

テーマ展示

「石器から鉄器へ」(7/15~8/28)

「古鏡の世界」(12/2~1/22)

速報展示

「袖比本村遺跡」(5/21~5/22)

会場 博物館教室

観覧者 2,281人

☆ 歴史

肥前の戦国時代を征したのは五州二島の太守とうたわれた龍造寺隆信であった。しかし、龍造寺軍が島原半島で有馬・島津の連合軍に負けて隆信が戦死した後は、政権が龍造寺氏から鍋島氏に移ってくる。全国的にも豊臣秀吉によって統一がなされ、文禄・慶長の役での名護屋城の築城は肥前にて大きな歴史上の出来事であった。

幕藩体制が整ってくると、肥前は、佐賀藩、唐津藩、対馬藩の領地に分かれ江戸時代の太平の世が続くが、長崎警備を命じられた佐賀藩は、幕末には西洋の先端技術を取り入れ、やがて起こる維新の一翼を担うことになった。

主要な展示資料は次のようなものがあります。

- 龍造寺隆信・政家・高房画像、龍造寺隆信感状、紺糸威桶側二枚胴具足（伝隆信着用）、鍋島直茂・勝茂画像や自筆の書状など
- 肥前名護屋城図屏風、慶長の役陣立て、朝鮮國礼曹刷還論告文など

- 長崎警備図屏風（宝永2年・正保4年）、幕末の対外関係図など・鍋島直正肖像画、直正書、忠宣公蘭艦乗込絵図、暇夷地開拓勅書など
- 築地反射炉絵図、公儀御石火矢鉄立方絵図、佐賀藩精煉方絵図、カノン砲離型、佐賀藩蒸気車離型など
- 長崎海軍伝習所の図、佐賀藩三重津海軍所の図、觀光丸模型など
- 山本常朝筆山水自賛画、葉隱写本（李白本ほか）、天縱殿扁額、聖堂三体像、古賀精里・穀堂書など

企画展「戦国を駆ける武将たち—五州の太守 龍造寺隆信の時代ー」（1～3号、2/3～3/12）

また、下記のコーナー展示を行った。

「近世佐賀藩の成立」（4/9～5/22）

「長崎警備」（5/27～8/28）

「幕末佐賀の近代化」（7/15～8/28）

☆ 美術・工芸

【第3期】

「染色 はれの日の色 筒描（つつがき）」

〈桐に鳳凰文〉

筒描 布団表 桐に鳳凰文 丸に尻合三つ萬紋 2

筒描 婚礼風呂敷(大)桐に鳳凰文 丸に三つ柏紋

筒描 布団表 桐に鳳凰文（麻地）

筒描 屏風(二曲一隻)桐に鳳凰文

筒描 布団表 桐に鳳凰文 「蘭谷」銘、朱印

筒描 夜着(綿入り)桐に鳳凰文

〈松竹梅に鶴亀文〉

筒描 布団表 鶴亀に松竹梅文

筒描 布団(綿抜き)鶴亀に松竹梅文

筒描 布団(綿抜き)鶴亀に松竹梅文

筒描 布団(綿抜き)鶴亀に松竹梅文

筒描 夜着(綿入り)鶴丸文

〈唐獅子牡丹文〉

筒描 布団表 唐獅子牡丹、岩に流水文

筒描 屏風(二曲一隻)唐獅子牡丹文

筒描 布団(綿抜き)唐獅子牡丹文(表)兜に鶴橋牡丹
丸文

〈婚礼用の組夜具ほか〉

筒描 布団表 波に鷹「福寿」字文

筒描 屏風(二曲一隻)波に鷹、宝珠に「寿」字文

筒描 布団(綿抜き)鶴亀に松竹梅、高砂文 沢鳶紋

筒描 布団(綿抜き)雪持ち南天文 沢鳶丸紋

- 筒描 布団(綿入り)鶴亀に松竹梅文
- 筒描 布団(綿入り)唐獅子牡丹文 岩、蝶、流水竹
- 筒描 布団(綿抜き)鶴亀に松竹梅文、雪
- 筒描 布団(綿抜き)孝子孟宗図（雪中筈掘りの図）
- 〈奉納幟幕〉
- 筒描 幕幕 源平合戦の図
- 墨書「明治二十八年未五月吉日」、「菅牟田邸」
- 〈勇壮な图案と唐獅子牡丹文〉
- 筒描 布団(綿抜き)鯉の滝登り文 三つ橋紋
- 筒描 布団表 富士に波、雲龍文
- 筒描 布団(綿抜き)唐獅子牡丹文、蝶、岩
- 筒描 布団(綿抜き)唐獅子牡丹文
- 筒描 布団(綿き)唐獅子牡丹文
- 筒描 布団衿掛 牡丹文
- 筒描 婚礼風呂敷(小)岩牡丹文 三つ銀杏紋
- 〈鶴鳩文・宝尽くし文・熨斗など〉
- 筒描 布団表 雪持ち竹梅に鶴鳩文、三盛梅紋
- 筒描 婚礼風呂敷(小)雪持ち竹梅鶴鳩文 三つ銀杏紋
- 筒描 婚礼風呂敷(小)竹梅に鶴鳩文 三つ橋紋
- 筒描 婚礼風呂敷(小)菊に貝桶文 揚げ羽蝶紋
- 筒描 婚礼風呂敷(小)生け花に巻子文 揚げ羽蝶紋
- 筒描 布団(綿抜き)宝尽くし文
- 筒描 婚礼風呂敷(大)宝尽くし文 三つ柏紋
- 筒描 婚礼風呂敷(大)宝尽くし文 松皮菱に三帆丸紋
- 筒描 婚礼風呂敷(大)宝尽くし文 三つ松紋
- 筒描 婚礼風呂敷(小)宝尽くし文 三つ松紋
- 筒描 婚礼風呂敷(小)宝尽くし文 藤丸に三つ松紋
- 筒描 布団(綿抜き)牡丹唐草文
- 筒描 布団表 熨斗に橋文
- 筒描 布団表 扇面文
- 筒描 布団表 扇面に波に鶴文
- 筒描 布団(綿抜き)扇尽くし文
- 筒描 布団表 鳥居に茶道具文（風炉先屏風か）
- 筒描 屏風(二曲一隻)茶道具尽くし文
- 筒描 布団表 竹文 四隅に丸に扇紋

【第5期】

「幕末・明治の浮世絵」

内容 歌川広重の「五十三次名所図会」（55枚）はじめ、昇亭北寿、歌川国芳、小林清親などの幕末から明治にかけての浮世絵版画を中心に、大和絵作品と宮川長春、鳥居昌信、歌川豊国などの肉筆浮世絵と、栄錦、夏龍、松根など浮世絵の普及を物語る佐賀の画家による浮世絵風の作品

も併せて展示。

〈浮世絵版画〉

- 1 五十三次名所図会 広重画 55枚 安政2 館蔵
- 2 上総九十九里地引網大漁獵正写之図 北寿画 1枚 江戸 寄託
- 3 江之島七里ヶ浜 北寿画 1枚 江戸 寄託
- 4 義経十九臣 国芳画 3枚 安政2 個人蔵
- 5 団七お梶 国芳画 1枚 嘉永5 寄託
- 6 青楼美人合・久喜万字屋内・雲井 1枚 江戸 個人蔵
- 7 五ヶ国之内・亜墨利加人 国久画 1枚 文久1 個人蔵
- 8 "・魯西亞人 国久画 1枚 文久1 個人蔵
- 9 "・英吉利人・南京人 国久画 1枚 文久1 個人蔵
- 10 改正横浜細見図・同其ニ 貞秀画 10枚 慶応3 館蔵
- 11 海運橋第一国立銀行 清親画 1枚 明治9 寄託
- 12 当世武勇伝・宮崎代助 国員画 1枚 明治 館蔵
- 13 枢密院会議之図 探景画 3枚 明治21 館蔵
- 14 宮城御移徒之図 延一画 3枚 明治 館蔵
- 15 25年貴族院議事之図 国政画 3枚 明治25 館蔵

〈大和絵と肉筆浮世絵〉

- 16 源氏物語図 土佐光起筆 1幅 江戸 寄託
- 17 竹図・源氏物語屏風 弘延筆 8曲1双 江戸 寄託・鍋島報效会
- 18 太夫と禿図 鳥居昌信筆 1幅 江戸 寄託
- 19 桜花遊楽図 宮川長春筆 1幅 江戸 寄託
- 20 浅草歳の市・正月図 歌川豊国筆 2幅 江戸 鍋島報效会蔵
- 21 羅漢図 伝葛飾北斎筆 1幅 江戸 寄託

〈浮世絵の普及…佐賀の画家〉

- 22 文机図 栄錦柴江筆 1幅 江戸 館蔵
- 23 ほととぎす美人文書き図 夏龍筆 1幅 江戸館蔵
- 24 雪松美人文書き図 周遊斎夏龍筆 1幅 江戸 館蔵
- 25 美人図 古川松根筆 1幅 江戸 館蔵
- 26 大石良雄宴樂図 古川松根筆 2曲1隻 江戸 館蔵
- 27 美人図 岸天岳筆 1幅 江戸～明治 館蔵
- 28 美人図 池田伊答筆 1幅 江戸～明治 館蔵
- 29 色絵婦人像 伊万里 1口 江戸 館蔵
- 30 色絵風俗図徳利 伊万里 1口 江戸 館蔵
- 31 染錦蝦夷仙人図角鉢 古伊万里様式 1口 江戸 寄託
- 32 染錦婦人像 伊万里 1口 江戸 館蔵
- 33 染錦美人櫻閣図大皿 古伊万里様式 1口 江戸 館蔵
- 34 染錦御所車風俗図鉢皿 " 1口 江戸 館蔵
- 35 染錦風俗図面取壺 " 1口 江戸 寄託

☆ 民俗

郷土の民俗では、歴史を民俗学的視野からとらえ、海・平野部から山間部にいたる諸々の習俗を概観できるよう試みた。

とくに、国の重要有形民俗文化財に指定されている有明海漁撈具は内容・量ともに充実しており、幕末から明治初期にかけての作と思われる「有明海漁業実況図」(松田房晃・全23図)や干潟生態模型と共に有明海の漁撈習俗を十分に知ることができる。

農業関係の資料としては、明治時代から昭和初期にかけての佐賀のクリーク(堀)農業を特徴づける各種農具があり、佐賀農業の歴史や当時の農業事情を伺い知ることができる。

その他、鳥栖市田代を中心とした製薬・壳菜関係資料、東松浦郡相知町横枕の大甕制作用具、小川島での捕鯨用具など佐賀の民俗を特徴づけている。

① 佐賀のすまい

- 民家模型(クド造り・ジョウゴ造り)
- 収納家具 ○あかり

② 佐賀農業のあゆみ

- 耕作用具 ○泥土掻げ用具 ○管理用具
- 収穫用具 ○脱穀調整用具

③ 有明海の文化

- 干潟漁業用具 ○干潟生態模型
- 貝養殖と採捕用具 ○船上で使う生活用具

④ 玄界の捕鯨

- 明治以降の捕鯨用具
- 肥前国産物図考(捕鯨の図・写真パネル)
- 勢子船・双海船(捕鯨の船)模型

⑤ 佐賀県の諸職

- 手すき和紙 ○独楽づくり ○漆塗り櫓
- 浮立面づくり ○鍛冶屋 ○大甕づくり
- 肥前配置壳菜

また、下記のコーナー展示を行った。

① 竹の民俗(4月9日～5月22日)

② 絵馬にみる農具(5月27日～8月28日)

③ くらしの器(10月7日～11月27日)

④ 佐賀の船(12月2日～1月22日)

☆ その他の展示

【第1期】

「平成5年度 新収蔵品展」

常設特別展 「脊振山系の仏教美術」

会期 4月9日(土)～5月22日(日)

会場 博物館3号展示室

内容 佐賀県を東西にはしる脊振山系の山々は、古来より天台密教や修験道などの山岳仏教が盛んで、脊振千坊といわれ、あるいは東西満山と呼ばれるように、九州では英彦山に次ぐ靈地であった。しかし室町時代の戦乱により衰退したため、現在ではわずかに残された遺物からその信仰や歴史をうかがうのみであるが、脊振山頂付近の靈仙寺跡からは経筒や瓦経、浮彫りの石仏など經塚に関わるものが発掘されている。

また中世になり中国から禅宗がもたらされると、修行や思索にふさわしい靈的で静寂な地をもとめて、脊振山系やその周辺には著名な禅僧が住むようになった。お茶を伝えたとして有名な栄西禅師をはじめとして、萬歳寺(鳥栖市)を開いた以亨得謙和尚や高城寺(大和町)の円鑑禅師などが足跡を残している。萬歳寺や高城寺には中国製の袈裟や絵画が残されており、脊振山系の寺院を通じて中國文化が移入された様子が想像される。

出品目録 (○は重要文化財 ◇は県重文)

〈彫刻〉

阿弥陀如来坐像	東木浦地区	平安
天部形立像	三学寺	平安
◇阿弥陀如来坐像	三学寺	鎌倉
○円鑑禅師像	高城寺	鎌倉／1300
地蔵菩薩坐像	高城寺	鎌倉時代
菩薩形坐像	高城寺	鎌倉
◇水上懸仏	水上地区	鎌倉／1271
誕生仏	萬歳寺	高麗

〈絵画〉

◇両界曼荼羅	妙覚寺	鎌倉
○見心来復像	萬歳寺	元
○以亨得謙像	萬歳寺	元～明
十王図	万寿寺	室町
蓮鷲図(等筆)	万寿寺	室町
金立神社縁起図	金立神社	江戸／1648

〈書〉

大般若経	岩蔵寺	南宋
〈工芸品〉		
◇二十五条袈裟	萬歳寺	室町
紗布衫	萬歳寺	室町
九条袈裟	高城寺	明
扁額	高城寺	桃山～江戸
雲版	高城寺	鎌倉
半鐘(樹政往)	高城寺	江戸／1685
〈考古遺物〉		
経筒(脊振山出土)	館蔵	平安／1142
経筒(靈仙寺跡出土)	東脊振村教委	宋
石造大日如来坐像(靈仙寺跡)	東脊振村教委	平安
石造如来形坐像(靈仙寺跡)	東脊振村教委	平安
◇経筒(脊振山経塚)	脊振村教委	平安
◇法華経(脊振山経塚)	脊振村教委	平安
石造如来形坐像(脊振山経塚)	脊振村教委	平安

2. 企画展

戦国を駆ける武将たち

—五州の太守 龍造寺隆信の時代—

主 催 佐賀県立博物館

会 期 平成7年2月3日(金)～3月12日(日)

会 場 佐賀県立博物館1号・2号・3号展示室

観覧料 大人 510円(410円)

大学生 250円(150円)

()内は20名以上の団体料金

*高校生以下は無料

図録 四六版12切変形

ロイヤルアート紙142ページ

(内カラー80ページ)

記念講演会

演題 「川中島と三本の矢」

講師 東京工業大学助教授 山室恭子氏

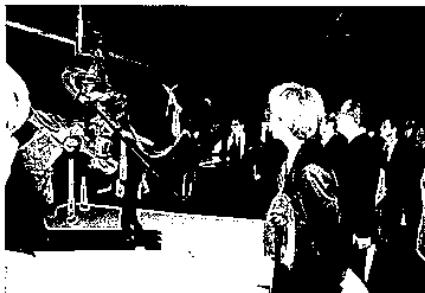
日時 平成7年2月26日(日) 午後2時～

場所 佐賀県立美術館1号A展示室

その他 展示内容に沿った15分のビデオソフトを作成し、会期中会場で放映した。

主旨 応仁の乱にはじまる戦国の争乱の中から、各地方ではその地域に根を降ろした実力のあるも

入場者数 11,114名(33日間)



会場風景

のが台頭し、みずからの実力でつくりあげた領国において、独自の支配を行う新しい地方権力がぞくぞくと誕生した。これが戦国大名である。戦国大名は、たえまい戦いに勝ち抜き領国を安定させなければ、支配者としての地位を保つことができなかった。

そうした中、16世紀中頃、日本に伝来した鉄砲やキリスト教もこれら戦国大名の施策や戦法、あるいは文化に大きな影響を及ぼし、自らキリスト教に改宗するものも現われた。

また、肥前では龍造寺隆信が現われ、その最盛期には筑前・筑後・豊前・肥後にまで勢力を拡大、「五州の太守」と呼ばれ、豊後の大友氏や薩摩の島津氏と競うほどに成長した。

今回の企画は、この龍造寺隆信の生きた時代を中心に、南蛮文化の流入がこの時代に与えた影響なども盛り込み、今日でもなお多くの人々の興味を引き付けて止まない戦国大名の実像とその魅力に迫ろうとしました。

展示構成

1. 西洋文明との出会い
2. 群雄割拠の英雄たち
3. 龍造寺隆信と九州
4. 天下人の時代
5. 戦国の終焉



記念講演会

3. 資料調査(博物館)

平成6年

4月14日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(長崎県長崎市)	学芸員 川副義敦
4月19日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(山口県防府市)	学芸員 川副義敦
4月20日	考古資料調査(佐賀県唐津市)	資料係長 蒲原宏行
4月22日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(福岡県嘉穂町)	学芸員 川副義敦
4月27日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(長崎県大村市)	学芸員 川副義敦
5月16～20日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(山梨県・長野県・愛知県・奈良県・京都府)	学芸員 川副義敦
5月18日	ゲンゴロウ調査(佐賀県七山村・浜玉町・富士町・三瀬村)	学芸員 中原正登

5月26日	考古資料調査(佐賀県白石町)	資料係長	蒲原宏行
5月31日	考古資料調査(佐賀県唐津市)	資料係長	蒲原宏行
6月1~4日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(鹿児島県・大分県)	学芸員	川副義敦
6月14日	太古木調査(佐賀県神埼町・上峰町)	学芸員	中原正登
6月14日	「筒描き」調査(佐賀県武雄市)	学芸員	宮原香苗
6月14~15日	県内社寺調査(佐賀県諸富町・江北町)	学芸員	竹下博正
6月16日	昆虫調査(佐賀県神埼町、佐賀市北部)	学芸員	中原正登
6月17~18日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(福岡県柳川市、佐賀県白石町・武雄市)	学芸員	川副義敦
6月20~23日	県内社寺調査(佐賀県川副町・塩田町・久保田町・嬉野町)	学芸員	竹下博正
6月24日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(山口県山口市)	学芸員	川副義敦
6月27~30日	県内社寺調査(佐賀県東与賀町・鹿島市・白石町・太良町)	学芸員	竹下博正
6月29日	自然環境現地調査(佐賀県鳥栖市)	学芸員	中原正登
7月4~7日	県内社寺調査(佐賀県福富町・有明町・北方町・大町町)	学芸員	竹下博正
7月5日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(長崎県平戸市)	学芸員	川副義敦
7月6日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(熊本県熊本市)	学芸員	川副義敦
7月12日	県内社寺調査(佐賀県佐賀市)	学芸員	竹下博正
7月15日	県内社寺調査(佐賀県白石町)	学芸員	竹下博正
7月18日	県内社寺調査(佐賀県有明町)	学芸員	竹下博正
7月26~31日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(東京都、千葉県、神奈川県、山形県、宮城県)	学芸員	川副義敦
8月19日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(福岡県福岡市)	学芸員	川副義敦
8月24日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(佐賀県武雄市)	学芸員	川副義敦
8月30日	太古木調査(佐賀県上峰町)	学芸員	中原正登
8月31日	太古木調査(佐賀県上峰町・神埼町)	学芸員	中原正登
10月4日	タガメ調査(佐賀県北波多村~浜玉町)	学芸員	中原正登
10月19日	タガメ調査(佐賀県浜玉町)	学芸員	中原正登
11月2日	歴史調査(佐賀県唐津市)	学芸員	川副義敦
11月10日	民俗資料調査(佐賀県牛津町)	学芸員	山崎和文
12月1日	企画展「戦国を駆ける武将たち展」にともなう調査(福岡県柳川市)	学芸員	川副義敦
12月14日	次年度企画展調査(佐賀県川副町)	学芸員	中原正登
12月14日	民俗資料調査(佐賀県千代田町)	学芸員	山崎和文
12月15日	次年度企画展調査(佐賀県諸富町・川副町)	学芸員	中原正登・山崎和文
平成7年			
1月12日	刀調査(佐賀県佐賀市)	学芸員	竹下正博
1月19日	次年度企画展調査(長崎県長崎市)	学芸員	中原正登・山崎和文
2月8日	次年度企画展調査(福岡県福岡市)	学芸員	中原正登・山崎和文
2月10日	民俗資料調査(福岡県夜須町・太宰府市)	学芸員	山崎和文
2月13日	次年度企画展調査(福岡県福岡市)	学芸員	中原正登
2月23日	次年度企画展調査(長崎県諫早市・吾妻町)	学芸員	山崎和文
3月5~6日	考古資料調査(長崎県老岐郡)	資料係長	蒲原宏行
3月7日	考古資料調査(福岡県太宰府市)	学芸課長	中牟田賢治
3月7~8日	次年度企画展調査(熊本県、大分県)	学芸員	中原正登
3月9日	考古資料調査(佐賀県鳥栖市)	学芸課長	中牟田賢治
3月11~12日	民俗資料調査(鹿児島県鹿児島市)	学芸員	山崎和文
3月14~17日	次年度企画展調査(東京都、埼玉県、山口県)	学芸員	中原正登
3月16~18日	次年度企画展調査(岡山県岡山市)	学芸員	山崎和文

4. 博物館観覧状況調べ 平成6年度

①博物館主催事業

常 設 展	有 料				無 料			
	個 人		団 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
佐賀県の歴史と文化	6,459	386	436	29	4,086	125	882	5,128

企 画 展	有 料				無 料			
	個 人		団 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
戦国を駆ける武将たち展	5,192	227	154	128			1,229	2,228

合 計 (常設展+企画展)	11,651	613	590	157	4,086	125	2,111	7,356
------------------	--------	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-------

②県関係事業(博物館)

展 覧 会 名	無 料					
	大 人	大 学	高・中・小	障 壁 者	招 待 券	優 待 券
第44回佐賀県児童生徒理科作品展	728	48	785			
合 計	728	48	785			

無 料				合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場
障 害	招 待	優 待	そ の 他					
133	136	71		17,871	220	81	4／1～3／31	1、2、3 大展示室

無 料				合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場
障 害	招 待	優 待	そ の 他					
41	1,695	36	184	11,114	33	337	2／3～3／12	2、3号

174	1,831	107	184	28,985	253	115		
-----	-------	-----	-----	--------	-----	-----	--	--

合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
1,561	7	223	9／23～9／30	3号	県理科教育振興会
1,561	7	223			

5. 普及活動

(1) 資料の刊行

館報

年4回、各号8項で1000部発行。

全国の主要博物館、美術館ならびに研究機関、県内の教育機関、社会教育団体等に配布。企画展、常設展の案内、資料紹介、研究報告等を掲載。平成5年度各号の内容は下記のとおり。

No.105

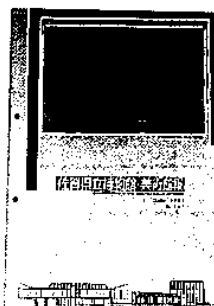
- ◇表紙・1633年 アムステルダム刊 支那・日本図
- ◇展覧会案内「平成5年度 博物館新収蔵品展」
- ◇常設展案内「平成5年度 美術館収蔵品展から」
- ◇資料紹介「浜玉町谷口古墳の遺跡出土状況について」
- ◇調査ノート「平成5年度 県内社寺調査」
- ◇行事案内／日誌



館報 No.105



館報 No.106



館報 No.107



館報 No.108

No.106

- ◇表紙・筒描き布団表 松竹梅に鶴亀文
- ◇常設展案内「昆虫の擬態—だましのテクニックー」
- ◇常設展案内「はれの日の色 筒描き」
- ◇常設展案内「絵馬にみる農具」
- ◇資料紹介「黒田清輝 書簡（久米桂一郎宛）」
- ◇行事案内／日誌

博物館・美術館年報

平成5年度佐賀県立博物館・美術館年報No.24を刊行し、平成5年度の管理概要、事業概要、資料概要、茶室の管理と運営の概要等を掲載し、各方面に配布する。

印刷部数800部、B5版、アート紙、54項

No.107

- ◇表紙・富士三保清見寺図 長谷川雪且筆
- ◇企画展案内「ふたつの富士図 百花繚乱の世界—江戸・化政期の絵画—より」
- ◇常設展案内「佐賀の船」
- ◇常設展案内「古鏡の世界—県内出土の弥生・古墳時代銅鏡—」
- ◇エッセイ「蛾の話」
- ◇行事案内／日誌

調査研究書

平成6年度佐賀県立博物館・美術館調査研究書第20集を刊行、各方面に配布した。印刷部数800部B5版、アート紙、60項。内容は下記のとおり。

宮原香苗（工芸）

図録

企画展「戦国を駆ける武将たち—五州の太守 龍造寺隆信の時代—」にともない刊行したもので、カラー図版80頁、ほか解説、出品目録等総計141頁。印刷部数1000部、B4版変形、アート紙。

No.108

- ◇表紙・騎馬武者像
- ◇企画展案内「戦国を駆ける武将たち—五州の太守 龍造寺隆信の時代—」
- ◇常設展案内「日本近代洋画と白馬会」
- ◇資料紹介「武雄市・貴明寺 後藤貴明像」
- ◇行事案内／日誌

(2) 研究講座

1. 記念講演会

企画展「戦国を駆ける武将たち一五州の太守 龍造寺隆信の時代ー」開催を記念して下記の内容で実施した。

年月日 平成7年2月26日(日) 14:00~

演題 「川中島と三本の矢」

講師 山室恭子(東京工業大学助教授)

会場 美術館1号A展示室

2. 博物館・美術館講座

テーマ	担当	月日
佐賀のトンボ相とお堀のトンボウォッチング	中原 正登	7月30日
農耕図絵馬にみる佐賀の農具	山崎 和文	8月6日
中国・滻城遺跡と環壕集落	中牟田賢治	8月20日
古鏡の語るもの	蒲原 宏行	8月27日

(3) 博物館実習

学芸員養成講座を開講している大学からの要請により、7月7日(木)から7月19日(火)までの10日間実施した。

参加者は18名。佐賀大学(10名)、西南学院大学(3名)、鹿児島女子大学(1名)、福岡大学(2名)、梅光女子大学(2名)。

7月	実習科目(担当)	
	午前 9:00~12:00	午後 13:00~16:00
7日(木)	・開講式 見学・管理運営(菊池)	博物館・美術館の学芸活動 (森・中牟田・蒲原・松本)
8日(金)	歴史(川副)	近世美術(福井)
11日(月)	収集作業	展示作業
12日(火)	収集作業	展示作業
13日(水)	民俗(山崎)	展示作業
14日(木)	近代美術(松本)	工芸(宮原)
15日(金)	考古学実習(中牟田・蒲原)	
16日(土)	個人またはグループによる館外実習	
18日(月)	自然史(中原)	中世美術(竹下)
19日(火)	実習ノート整理	閉講式

(4) 館外普及活動

6月21日 佐賀県広報連絡会議出席

7月21日 佐賀県広報連絡会議出席

8月25日 佐賀県広報連絡会議出席

9月27日 佐賀県広報連絡会議出席

11月24日 佐賀県広報連絡会議出席

1月11、12、13、18、20、25、30、31日

企画展「戦国を駆ける武将たち」広報

資料の概要

1. 購入資料

(1) 自然史資料

資料名	数量	備考
昆蟲類標本(外国産)	66点	

(2) 考古資料

資料名	数量	備考
谷口古墳出土三角縁徵文帶三神三獸鏡	1面	複製品(発生)

(3) 歴史資料

資料名	数量	備考
米歐回覽實記(1~5篇)	5冊	
勝差銘「肥州唐津高田河内守源本行 宝永七年八月日」	1口	
龍造寺隆信画像	1幅	複製品(発生) 紹本 着色 軸装

(4) 美術・工芸資料

資料名	数量	備考
鍋島綱茂筆「寿老人・花鳥図」	3幅	紹本 着色 軸装

2. 寄贈資料

(1) 歴史資料

資料名	数量	寄贈者
勝差銘 挿摩大掾 藤原忠國 二月吉日	1口	太宰府市 横山 学
古賀精里一行書	1	横浜市 諸岡 モト
今上天皇御即位大嘗祭絵巻	1	佐賀市 川崎ヨネ子・邦次
幡	1	小城郡三日月町 玉毫寺
和歌短冊	1式	東京都 吉川二郎
和歌小短冊	1式	"
和歌焼紙 野中古水	1	"
和歌焼紙 野中安貞	1	"
和歌焼紙 德見知愛	1	"
和歌焼紙 古川穂主	1	"
和歌焼紙 褚方清石	1	"
和歌焼紙 褚方豊苗	1	"
和歌焼紙 原口千竹	1	"
和歌焼紙 江口孝儀	1	"
和歌焼紙 城島嘉保	1	"
和歌焼紙 中島芳州	1	"
和歌二首 古川松根	1	"
古川松根追悼和歌 重松春香	1	"
和歌二首(18.0×60.6) 松平健子	1	"
和歌二首(17.7×41.6) 松平健子	1	"
和歌二首「慶子」	1	"
和歌二首「柏子」	1	"
書状(古川松根宛)	1	"
書状(古川様宛)	1	"
「告説」	1	"
「勤方覚」	1	"
「康熙字典」	1式	"

3. 寄託資料

(1) 考古資料

資 料 名	数 量	委 託 者	備 考
北尾出土銅戈	1 口	北茂安町教育委員会	佐賀県重要文化財
東尾出土銅戈	1 口	"	"
六の輪遺跡出土連弧文昭明鏡	1 面	"	"

(2) 美術・工芸資料

資 料 名	数 量	委 託 者	備 考
白紙墨妙法蓮華經断簡	1 括	唐津市 鏡神社	
紺紙金字妙法蓮華經	1 卷	"	
脇差 銘 近江大掾藤原忠広	1 口	佐賀市 個人	
銅造如來形立像	1 軸	玄海町 値賀神社	統一新羅時代
御正体(懸仏)	10面	"	慶長2年(1597)
木造十一面觀音坐像	1 軸	"	長享3年(1489)
木造不動明王立像	1 軸	"	室町時代
木造不動明王立像	1 軸	"	室町～江戸
御正体(懸仏)	7 軸	"	鎌倉～室町
御正体鏡面	1 面	"	
鏡	1 面	"	
柄鏡	1 柄	"	江戸時代
獨鉛杵	1 把	"	桃山時代
錫杖頭	2	"	桃山時代
金弊	1	"	江戸時代
牛王版木	1	"	元文2年(1737)
脇差 銘 河内守藤原正広	1 口	佐賀市 勝軍稻荷神社	

4. 資料の貸出状況

資料名	貸出先・目的	貸出・返却
桜馬場遺跡出土品・二塚山出土品ほか 12件24点	奈良県立橿原考古学研究所付属博物館「倭人の世界」展	H6. 4. 11~6. 10
有明海漁労用具 49件58点	八代市立博物館「漁ー有明の海に生きる」展	H6. 4. 15~5. 26
川寄吉原遺跡・川寄若宮遺跡出土縹形土製品 3点	滋賀県立安土城博物館「弥生時代の農耕祭祀」展	H6. 4. 22~6. 17
小城鍋島家什器類（桶・柄杓・盥・角盤） 5点	佐賀県立名護屋城博物館常設展	H6. 4. 25~8. 29
小城鍋島家什器類（鞍・轡） 2点	佐賀県立名護屋城博物館常設展	H6. 5. 30~9. 26
無尽灯・佐賀藩精煉方図（複製）ほか 5点	福岡県青少年科学館「からくり儀右衛門」展	H6. 7. 9~7. 25
横田遺跡出土素環頭鉄刀・鉄劍ほか 13点	鹿児島県歴史資料センター黎明館「稻作への道」	H6. 7. 22~8. 31
閑行丸古墳出土珠文鏡・方格規矩鏡ほか 18点	広島県立歴史民俗資料館「古墳と大陸文化」展	H6. 9. 13~11. 11
大友遺跡出土イモガイ製貝輪ほか 10点	大阪府立弥生文化博物館「サンゴ礁をわたる碧の風」展	H6. 9. 20~12. 6
二彩唐津山岳文大鉢・青絵競掛ほか 10点	佐賀県立九州陶磁文化館「よみがえる江戸の華」展	H6. 9. 27~11. 18
坂の下遺跡出土アラカンの実ほか 10点	佐賀県立名護屋城博物館「繩文のシンフォニー」展	H6. 9. 27~11. 21
アームストロング砲復元模型ほか 5点	鳥取県立博物館「明治維新と鳥取」展	H6. 9. 30~11. 12
肥前名護屋城図屏風（複製）ほか 124点	宇和島市立伊達博物館「－佐賀藩鍋島・宇和島藩伊達－ゆるぎなき縁」展	H6. 10. 15~11. 27
肥前名護屋城図屏風ほか 9点	唐津市教育委員会「唐津文化の源をさぐる」展	H6. 10. 18~11. 8
菜畠遺跡出土品（複製） 9点	貳塙市歴史資料館「米づくりを始めたころの筑豊」展	H6. 10. 26~12. 26
化石（三葉虫・アンモナイト・ウニほか） 9点	肥前町教育委員会「第19回肥前町文化祭」	H6. 11. 10~11. 15
桜馬場遺跡出土連弧文鏡ほか 3点	唐津市教育委員会 複製品作成のため	H6. 11. 11~11. 21
大友遺跡出土貝輪・画文帶神獸鏡 11点	祐徳博物館 常設展	H6. 11. 22~H7. 1. 26
色絵美更紗文皿・色絵豪美更紗文皿 2点	株式会社有田V. O. C「初期鍋島と松ヶ谷」展	H6. 12. 3~H7. 4. 1
百朱簞笥・針箱 2点	佐賀県立名護屋城博物館「韓国木工芸の美」展	H7. 1. 17~H7. 3. 3
宇木汲田遺跡・桜馬場遺跡出土品ほか 14件41点	横浜市歴史博物館「大坂・豊勝土遺跡の時代」展	H7. 3. 20~H7. 5. 16
祇島山遺跡・宇木汲田遺跡出土品ほか 4点	春日市教育委員会「青銅器を作る人々・ガラスを作る人々」展	H7. 3. 28~H7. 5. 11

5. 購入図書

図書名	発行所
日本産蛾類大図鑑	講談社
橿原考古学研究論集	吉川弘文館
神道事典	弘文堂

茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

1 茶室規模及び施設

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で21年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に浸透し、県内や、県外の茶道各流派のグループによる利用や、各種団体による茶会など幅広く利用された。

設計者 堀口捨己 東京都大田区山王4-6-5

早川正夫 東京都港区青山5-9-12

アイザワビル

構 造 木造平家建 寄棟造り

規 模 床面積 57.35 m²

2 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、22年目に入り、大学生茶道部をはじめ、各流の茶道グループによる茶会、又企業の全国大会後茶会を開いてもてなす等利用の幅も広まり社会教育の一環として広く利用された。

月別にみた利用状況は次のとおりである。

平成6年度			
月	利用団体数	利用者数	見学者数
4	1	18	
5	1	10	1
6			14
7	3	72	
8			
9			1
10	1	10	4
11	3	66	2
12	1	5	1
1	2	50	2
2			
3	3	26	2
計	15	257	27

3 茶道具備品

平成6年度末の概況は次のとおり191点である。

掛物 淡々斎宗室、希斎宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、壳茶翁の二行書、千宗佐、千代尼

花入 胡銅、朝鮮唐津「中里重利作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原隆作」、備前焼、竹花入「生野祥雲斎作」、竹一重切花入「宗陵作」、有馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹斎作」、青磁鶴首花入「小笠原隆作」

香合・香炉 「12代今泉今右衛門作」、「井上萬二作」、黒牟田焼「丸田正美作」、「宗祥作」、菊花書詰蒔卵香合「助市作」、「13代今泉今右衛門作」、「源右衛門作」

茶碗 唐津奥高麗「中里無庵作」、絵唐津・唐津刷毛目「13代中里太郎衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原隆作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸・唐津皮鯨茶碗「中里重利作」、白磁茶碗「初代忠右衛門作」、黒楽茶碗「小川良楽作」、志野茶碗「荒川豊蔵作」、支那焼、高麗斗々屋「千漢鳳作」

水指 信楽焼「高橋染斎作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、染付「12代今泉今右衛門作」、高麗「千漢鳳作」

薄茶器 沈金棗「安村稔作」

濃茶器 「13代酒井田柿右衛門作」

茶杓 「宗泰作」

風 炉 利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉、鬼面共耳風炉

釜 切合釜・竹紋縁口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲龍釜「高橋敬典作」、尻帳釜「高橋敬典作」、鬼面共耳風炉釜「横倉嘉山作」

棚 竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長板

火入 染付「12代今泉今右衛門作」

菓子器 唐津焼「13代太郎衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、青磁「中島宏作」、現川焼

建水 不審庵伝来写「11代中川淨益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅風炉先屏風 秋草蒔絵

炉縁 高台寺蒔絵「柴田利雄作」

曲湯桶 置炉、瓶掛、蒟蒻塗四方盆、茶托と蓋、茶碾、茶壺

平成 6 年度

佐賀県立美術館

美術館の沿革

- 昭和55年 3月 県政百周年記念事業の一環として、昭和58年開館を目指し、佐賀県立美術館の建設を決定。
- 昭和55年 4月25日 佐賀県立美術館建設委員会設置。
- 12月10日 安井建築設計事務所による基本設計採用。
- 昭和56年 3月31日 安井建築設計事務所による実施設計採用。
- 10月26日 佐賀県立美術館建設着工。
- 昭和58年 1月31日 佐賀県立美術館建設完工。
- 4月1日 佐賀県立美術館設置条例施行。
佐賀県立博物館及び美術館協議会条例施行。
佐賀県立美術館専務規則施行。
- 10月7日 山口亮一氏遺作64点を山口三千也氏より寄贈受く。
- 10月8日 佐賀県立美術館落成式、開館記念展「近代・九州の洋画家たち展」開催。
- 昭和61年 9月1日 石本秀雄氏遺作31点を遺族より寄贈受く。
- 昭和63年 9月30日 佐賀県立美術館開館5周年記念展「田園風俗画展」開催。
- 平成3年11月23日 佐賀県立美術館の開館以来の懸案である扉を開放する。
- 平成4年 8月11日 紀宮清子内親王殿下御視察。
- 平成5年10月8日 佐賀県立美術館開館10周年記念展「岡田三郎助展」開催。開館以来最高の入館者を記録した。
- 平成6年 3月29日 古賀忠雄彫刻の森を開園。
- 平成6年 7月22日 美術館所蔵名品巡回展「夏の美術館」(～8月7日、河村美術館)を開催する。当年度2会場、以後引き続き開催。

規模及び施設

構 造	鉄筋コンクリート造	一階建	一部二階建	
規 模	敷地面積	7,986m ²		
	建築面積	3,644m ²		
	延床面積	4,238m ²		
施 設	1号展示室	204m ²	倉 庫	5m ²
	2号展示室	230m ²	ホール	529m ²
	3号展示室	250m ²	和楽室・洋楽室	39m ²
	4号展示室	366m ²	準備室	18m ²
	収蔵庫	319m ²	映写室	12m ²
	収蔵庫前室	26m ²	機械室	47m ²
	荷解場	120m ²	倉 庫	13m ²
	倉 庫	79m ²	便 所	34m ²
	画廊・準備室	137m ²	ホワイエ	126m ²
	研修室	135m ²	休憩室	56m ²
	事務室	148m ²	便 所	93m ²
	写真室・暗室	58m ²	廊下・階段等	
	機械室	80m ²		1,114m ²

歳 出 予 算

科 目	予算額(単位千円)	科 目	予算額(単位千円)
(美術館費)			
1. 管理運営費	59,174	4. 企画展費	17,123
管理費	59,044	企画展開催費	15,432
会議及び研修費	130	企画展紹介費	1,691
2. 資料整備費	25,865	5. 常設展費	2,639
資料購入費	20,000	6. 普及活動費	5,874
資料整理費	5,640	7. 施設整備費	18,175
資料収集費	225	8. 美術館所蔵名品巡回展費	4,951
3. 調査研究費	145		
研究費	80		
調査費	65	計	133,946

事業の実施状況

1. 常設展

第Ⅰ期 平成5年度新収蔵品展 —近・現代美術と工芸—

会期：3月26日(土)～5月15日(日)

会場：美術館2・3号展示室

主旨：前年度（平成5年度）あらたに収蔵した近代
美術各部門の資料を紹介した。

〈出品目録〉

作家名	題名	年代
〈日本画〉		
1 高取 稔成	伊衡勅使の図	明治中・後期頃
〈洋 画〉		
2 五百城文哉	風景	明治20年代
3 高木 背水	英國風景	1911(明治44)
4 //	婦人肖像	c.1915(大正4頃)
5 北島 浅一	動物ーカーネーション	1920年代
6 田中 太郎	茶の前	1949(昭和24)
7 吉武 研司	絵日記ー外国の歌をきいたー	1993(平成5)
8 //	絵日記ー雨々ふれふれー	1991(平成3)
9 野村 昭嘉	不詳	1986(昭和61)
10 //	雲の製造 I	1988(昭和63)
11 //	雲の製造 II	1988(昭和63)
12 //	雨雲の桜 II	1988(昭和63)
13 //	不詳	1988(昭和63)
14 //	不詳	1988(昭和63)
15 //	不詳	1988(昭和63)
16 //	不詳	1989(平成1)
17 //	不詳	1989(平成1)
18 //	不詳	1990(平成2)
19 //	不詳	1990(平成2)
20 //	Amosu Norle	1990(平成2)
21 //	不詳	1990(平成2)
22 //	不詳	1990(平成2)
23 //	Oeret	1990(平成2)
〈版 画〉		
24 古沢 岩美	銅版画集『修羅餓鬼』	1960-93年
〈資 料〉		
25 黒田 清輝	久米桂一郎宛書簡	1898(明治31) 明治31年3月11日横浜差出、同日東京届

〈金 工〉

26 石田 英一	鍛金 小雀花瓶	c.1935~55
27 石田 英一	鍛金 鳥形花生	1947(昭和22)か
28 石田 英一	鍛金仏 聖観音	c.1925~35
〈鍋島綾通〉		
29 鍋島綾通	花十字文(2枚)	大正時代
30 鍋島綾通	蟹牡丹唐草文	明治後期ー大正(寄託)
31 鍋島綾通	蟹牡丹文	昭和10年代(寄託)
32 鍋島綾通	蟹牡丹蝶文	明治中期ー後期(寄託)

〈優秀作品賞上げ〉

33 川原 英子	搖れる	1993(平成5)
第43回県展文部大臣奨励賞		
34 川本 達也	移ろひゆくものA	1993(平成5)
第43回県展佐賀県知事賞		
35 野田 和弘	戯れる	1993(平成5)
第43回県展佐賀県知事賞		
36 謎山 翠仙	三十六歌仙	1993(平成5)
第43回県展佐賀県議会議長賞		
37 佐藤由美子	朝市からIV	1993(平成5)
第76回美協展鍋島報效会賞		
38 平方寛九郎	吉野ヶ里	1993(平成5)
第43回県展佐賀県知事賞		
39 北 朱里	ENVIRONMENTAL PROTECTION I・II 環境保護I・II	1993(平成5)

第43回県展佐賀県議会議長賞

第II期

日本近代美術の人物画

会 期：7月29日(金)～8月21日(日)

会 場：美術館2・3号展示室

内 容：日本近代美術の先駆者百武兼行から現在活躍中の日本画家、洋画家18人の作品から、画題を人物像および人物を主体にした作品に限定した。また、展示については、さらに主題別に自画像、頭部像、半身・全身像、裸体像、二人・群像のコーナーとして展示した。No.1. 2. 3は日本画 No.4～36は洋画

<出品目録>

作家名	題 名	年 代
1 三根 霞郷	姉妹	1935(昭和10)
2 池田幸太郎	婦人半身像	1923(大正12)
3 "	自画像	1924(大正13)
4 百武 兼行	老婦人像	c.1879(明治12)
5 "	マソドリンを持つ少女	1879(明治12)
6 "	タソバリンを持つ少女	c.1881(明治30)
7 小代 為重	少女像	1897(明治30)
8 藤島 武二	裸婦	大正時代
9 "	裸婦	1920年代
10 "	台灣娘	1933(昭和8)
11 岡田三郎助	西洋婦人像	1900(明治33)
12 "	女の顔	明治末年
13 "	花野	1917(大正6)
14 高木 背水	婦人肖像	c.1915(大正4)
15 山口 亮一	後ろ向きの裸婦	1909(明治42)
16 "	婦人像	1910(明治43)
17 "	自画像	1931(昭和6)
18 "	自画像(ところ)	1961(昭和36)
19 "	女・紅の上衣	年代不詳
20 三根 霞郷	アイヌの顔	1924(大正13)
21 "	荷車を引く人	1932(昭和7)
22 "	自画像	1935(昭和10)
23 斎藤 与里	婦人像	年代不詳
24 北島 浅一	少女	c.1904(明治37)
25 "	女の顔	1921(大正10)
26 "	画家の妹	1929(昭和4)
27 御厨 純一	自画像	1916(大正5)
28 "	黒衣の婦人	1926-28
29 "	手鏡を持つ裸婦	1928(昭和3)
30 松本 弘二	男鹿の夏	1970(昭和45)

31 山口 猛彦	母と子	1938(昭和13)
32 石本 秀雄	首飾りの裸婦	1958(昭和33)
33 "	はなし	1961(昭和36)
34 井手 誠一	まどろみ(マリ・アズマ像)	1977(昭和52)
35 村岡 平蔵	風	1981(昭和56)
36 吉田 進一	自画像	1949(昭和24)
37 吉武 研司	肖像—恋人たち	1984(昭和59)

第III期

「新郷土」表紙原画

会 期：11月19日(土)～12月18日(日)

会 場：美術館2・3号展示室

内 容：雑誌『新郷土』は、昭和23年8月15日に創刊され、平成4年8月1日発行の520号をもって休刊した。はじめ中央公民館の情報誌として『明(あかり)』の名称でしたが、昭和27年『新郷土』と改めた。本展はこの『新郷土』の表紙を飾った郷土作家の作品（原画）のうち88点を紹介した。

昭和26年4月、佐賀県文化館が発足し、第1回佐賀県美術展覧会（県展）が開催された。翌27年に、『新郷土』と名称を改めた本雑誌は、その後地方文化の担い手として、政治、経済、文化の多岐にわたりさまざまな情報の発信をおこなってきた。

表紙絵は、第1号の石本秀雄以来、洋画、日本画、書、彫刻、工芸、デザイン、写真の各ジャンルの美術家の方々が原画を寄せている。今回の展示は、平成5年度、当館が寄託を受けたの機会を紹介した。

第Ⅳ期		33 青木 繁 朝日	1910(明治43)
日本近代洋画と白馬会		34 北島 浅一 少女	c.1904(明治37)
会 期：2月11日(土)～ 3月26日(日)		35 御厨 純一 木蔭	1913(大正2)

会 場：美術館2・3号展示室

内 容：日本近代洋画の先駆者百武兼行と1896年（明治29）創設の白馬会創立会員である黒田清輝、久米桂一郎、小代為重、岡田三郎助、藤島武二らの作品を中心に、高木背水、山口亮一らの白馬会に出品した作家たち、及び白馬会洋画研究所で学んだ作家たちを紹介した。

〈出品目録〉

1 百武 兼行	耕作	c.1878(明治11)
2 "	バーナード城下絵	c.1878(明治11)
3 "	老婦人像	c.1879(明治12)
4 "	マンドリンを持つ少女	1879(明治12)
5 "	タソバリンを持つ少女	c.1881(明治14)
6 山本 芳翠	帆船	1903(昭和36)
7 小代 為重	少女	1897(明治30)
8 "	シンガポール	1900(明治33)
9 "	スエズ運河	1900(明治33)
10 "	チームズ河畔	1900(明治33)
11 黒田 清輝	画室内	1889(明治22)
12 "	小代為重像	1897(明治30)
13 久米桂一郎	京都加茂川の景	1893(明治26)
14 "	子供のいる風景	1894(明治28)
15 "	残暦下絵	1898(明治31)
16 藤島 武二	裸婦	大正時代
17 "	裸婦	1920年代
18 岡田三郎助	西洋婦人像	1900(明治33)
19 "	若き娘の顔	1913(大正2)
20 "	花野	1917(大正6)
21 "	涼々園にて	1935(昭和10)
22 "	伊豆山	1935(昭和10)
23 中沢 弘光	奈良風景	年代不詳
24 "	舞妓	c.1955(昭和30)
25 高木 背水	英國風景	1911(明治44)
26 "	春雨	1912(明治45)
27 "	永田町馬場図	大正初頃
28 "	羅馬公園	c.1920(大正9)
29 山口 亮一	風景	1909(明治42)
30 "	秋の日	1909(明治42)
31 "	婦人像	1910(明治43)
32 青木 繁	佐賀風景	1910(明治43)

工芸 ほか 1号B展示室

**第Ⅰ期 一回顧県展 グラフィックデザイナー
(第1期 平成5年度新収蔵品展とともに)**

会 期：3月26日(土)～5月15日(日)

会 場：美術館1号B展示室

内 容：昭和53年以來文化課で購入した佐賀県美術展や佐賀美術協会展の優秀作品の10年を回顧して、時代を敏感に反映するグラフィックデザインの世界を紹介した。

〈出品目録〉

作家名	作品名	制作年
1 宮木英幸	ポスター宮木英幸〈構成〉展II	1979(昭和54) 第29回県展佐賀県知事賞
2 横谷孝史	食べてびっくり	1980(昭和55) 第30回県展佐賀県知事賞
3 納富 司	現代日本いけばな展	1982(昭和57) 第32回県展佐賀県知事賞
4 小島淳二	聖者が街にやって来る	1986(昭和61) 第36回県展文部大臣奨励賞
5 横谷孝史	ジャズマンは黒い靴I・II	1988(昭和63) 第38回県展佐賀県知事賞
6 古賀貴康	TIME AND FACE A・B	1990(平成2) 第40回県展佐賀県教育委員会賞
7 古川誠次	黄金の収穫	1991(平成3) 第41回県展佐賀県議会議長賞
8 朝重利文	JAPAN COMPUTER GRAPHICS I・II	1992(平成4) 第42回県展文部大臣奨励賞

第Ⅱ期 一有明の海 染色 小川泰彦－

会 期：5月18日(水)～7月3日(日)

会 場：美術館1号B展示室

内 容：潮の満ちひきで様々な表情をみせる有明海。染色家小川泰彦の色彩踊る有明海のイメージを、作品4点で紹介した。

〈出品目録〉

作品名	制作年	備 考
1 染色屏風 有 明	1979(昭和54)	第11回日展 特選

- 2 染色屏風 有明の宿 1980(昭和55) 第12回日展
- 3 染色 有明回帰 1985(昭和60) 第71回光風会展
評議員審査員出品
- 4 染色屏風 明け染めし 1988(昭和63) 第20回日展

作家略歴

小川泰彦 OGAWA,Yasuhiko 1927(昭和2)～

佐賀市水ヶ江町に生まれる。佐賀師範学校本科を卒業。病床で油絵に決別、独学で染色にすすむ。昭和37年第5回日展に初入選の後、50年「有明の朝」、54年「有明」で日展特選、日本現代工芸美術展受賞のほか、光風会、日本新工芸展での活躍もめざましい。有明海の四季を主題に光と陰、色彩の微妙な諸相をとらえて表現される空・水・泥土は、有明の風土を映しながらも現代的な透明感、明快さを忘れない。昭和52年から佐賀大学で後進の指導に励み、教授をへて平成4年3月佐賀大学を退官。

第Ⅲ期 一鉄のかたち 彫金 松尾忠次－

会 期：7月6日(水)～8月31日(水)

会 場：美術館1号B展示室

内 容：鉄のイメージはいかにも硬く重い。立体的、構成的、造形的そんなことばだけで彫金作家松尾忠次の作品は語れない。ひかえめにはほどこされた金や銀の装飾に手仕事のぬくもりを感じ、「双翅」や「双魚」の題名にこめられた遊び心を探った。

「鉄のかたち」というように、鉄の素地(きじ)をもとにした鋭い直線的な作品を得意とする作家だが、銅を打出して曲線的な創作をこころみた時期もあったという。展示作品全8点には、鉄以外の素材もある。

〈出品目録〉

作品名	制作年	出 品 歴	備 考
1 双(そうし)翅	1986(昭和61)	第18回日展	寄託
2 双(そうぎょ)魚	1985(昭和60)	第17回日展	
3 鉄地銀象嵌竈	1984(昭和59)	第16回日展	
4 布目象嵌器	1976(昭和51)	第8回日展	
5 きれつ	1970(昭和45)	第2回日展	寄託
6 作 品	1964(昭和39)	第7回日展	

- 7 金華花器 1960(昭和35) 第3回日展
8 金銀鉄花器 1958(昭和33) 第1回日展

作家略歴

松尾忠次 MATSUO, Tadatsugu 1909(明治42)~

佐賀郡富士町に生まれる。東京美術学校工芸科で清水亀蔵に彫金を学び、彫金家海野清のもとで修業する。昭和11年卒業後、満州の奉天造幣廠に勤務し、終戦後帰佐。同26年第7回日展に初出品の「鉄布目花瓶」で入選、以後一年一作の充実した創作を続けるが、日展以外には出品せず、作家活動もしない知られざる市井の一工芸家である。近作は鉄の立体的な構成をもとに、銀を象嵌した装飾をあしらって、重厚硬質な鉄と柔らかな銀の対比、鉄の荒々しい肌感と光沢のある銀の質感をまとめてあげて、その力量を發揮している。

第Ⅳ期 一佐賀風物誌 鈴田照次 染色と工芸一

- 会期：9月23日（金・祝日）～11月13日（日）
会場：美術館1号B展示室
内容：「なつかしい佐賀の風物は？」と聞かれてな
に思い浮かべるのは…、有明海の魚介類、
面浮立、カレンダーに見る紙漉（かみすき）、
竹細工、佐賀ガラスの宙吹き、そして能古見
人形。染色家鈴田照次（すずたてるじ）は、
愛してやまなかつたふるさと佐賀の自然や行
事をその作品にとりあげ、ロウケツ染め、型
絵染め、陶磁器のデザインなどに腕をふるつ
た。鹿島の郷土玩具として知られる「能古見
人形」を考案した染色家は、失われゆく佐賀
の伝統的な染色工芸、鍋島更紗（なべしまさ
らさ）の復元に賭けて、斬新な木版摺更紗
(もくはんぎりさらさ)を創作し、佐賀を代
表する染織家として活躍した。

〈出品目録〉

作品名	制作年	出品歴
1 ロウケツ染衝立 有明文	1952(昭和27)	第2回県展(寄贈)
2 型絵染壁掛 面浮立図	1961(昭和36)	抄録は新匠会展出品
3 白磁水滴 猿	1944(昭和19)頃	筑山窯製(寄贈)
4 白磁染付皿 柳文	1945(昭和20)頃	深川精磁製(寄贈)
5 白磁上絵皿 面浮立図	1945(昭和20)頃	深川精磁製(寄贈)

- 6 和紙型絵染表紙原画面浮立図 1973(昭和48) 佐賀ロータリー・クラブ記念誌「二十年の歩み」表紙(寄贈)
7 和紙型絵染カレンダー「肥前の手工芸」
1977(昭和52) 鈴田照次原画／1991(平成3)
鈴田滋人複製 村岡総本舗
表紙「午」、「鼓の松節」、「和紙づくり」、「須古の花筵」、「硝子器つくり」、「竹細工」、「能古見人形」の七枚
8 木版摺更紗着物 竹文 1978(昭和53)
第15回日本伝統工芸染織展
9 木版摺更紗着物 山果鳥文 1980(昭和55)
第27回日本伝統工芸展
○作品8・9は前期のみ、作品10・11は後期のみ展示します。
10 木版摺更紗着物 松文 1973(昭和48)
第20回日本伝統工芸展
11 木版摺更紗着物 松の花文 1978(昭和53)
第25回日本伝統工芸展
○作品8・9は前期のみ、作品10・11は後期のみ展示。

作家略歴

鈴田照次 SUZUTA, Teruji 1916(大正5)～1981
(昭和56)

杵島郡白石町に生まれる。東京高等工芸学校工芸图案科でロウケツ染の鹿島英二に学ぶ。富本憲吉らの主催する京都の新匠会に参加、稻垣稔次郎との出会いから型絵染の世界で染色家開眼、昭和34年日本伝統工芸展に初出品、同37年会長賞受賞とともに日本工芸会正会員となる。大正初期に絶えた鍋島更紗の復元に挑戦、10年がかりで型紙と木版を組み合わせたライフワーク「木版摺更紗」を完成、同47年「更紗着物松文」を発表、病に倒れるまでの十年間精力的に創作を続けた。

第V期 工芸之佐賀—館蔵の陶磁器から—

- 会期：11月19日(土)～1995年2月5日(日)
会場：美術館1号B展示室
内容：佐賀県文化館時代から佐賀県立博物館の開館
した昭和45年にかけて収集された陶磁器には、
先代の今泉今右衛門、先々代の酒井田柿右衛門、
まだ十二代の中里太郎衛門(のちの無庵)、
そして日展初出品の「陶芸家」松本佩山(は

いざん)、白磁の初代奥川忠右衛門に民芸陶器の丸田正美などの作品がある。およそ半世紀をこえて、陶磁器は今なにを語るだろうか。

『工芸之佐賀』は、昭和二十年代に3回発行された産業工芸雑誌のタイトルを借用した。

作品目録はおよその制作年順、六人の出品作家一覧は生年順。

〈出品目録〉

作者名	作品名	制作年
1 初代 松本佩山	五彩布目雲獸文大皿	1941(昭和16)
2 初代 松本佩山	釉象嵌牡丹図皿	1947(昭和22)頃
3 初代 松本佩山	釉裏紅金彩鯉図皿	1958(昭和33)頃
4 初代 松本佩山	白磁筆手鉢蘭形花器	1960(昭和35)頃
5 12代 酒井田柿右衛門	渦手色絵草花文蓋物	1958(昭和33)頃
6 12代 酒井田柿右衛門	渦手色絵草花図花瓶	1961(昭和36)頃
7 12代 中里太郎右衛門	叩き朝鮮唐津壺	1962(昭和37)頃
8 12代 今泉今右衛門	色錫鳥更紗文八角大皿	1963(昭和38)頃
9 初代 奥川忠右衛門	白磁牡丹影文花瓶	1965(昭和40)頃
10 丸田正美	塩釉黒釉流し文盛器	1963(昭和38)頃

第VI期 一回顧県展 写真一

会 期：2月11日（土・祝日）～3月26日（日）

会 場：美術館1号B展示室

内 容：昭和53年以来文化課で購入し美術館で収蔵してきた佐賀県美術展や佐賀美術協会展の優秀作品から、写真部門全10件11点を展示した。時代を写し、現代を反映する写真の世界を、われらが県展作品に探ってみた。

〈出品目録〉

作家名	作品名	制作年	備考
1 愛甲博光	鶴殿磨崖仏	1980(昭和55)	第30回県展文部大臣奨励賞
2 前川和宏	式典前	1982(昭和57)	第32回県展佐賀県知事賞
3 生田六郎	夕やけ	1985(昭和60)	第35回県展文部大臣奨励賞
4 井上富子	萌える季節	1986(昭和61)	第36回県展佐賀県知事賞
5 島内義則	子等を忘れたオルガソ	1987(昭和62)	第37回県展佐賀県知事賞

- | | | | |
|---------|---------------|------------|---------------|
| 6 秋吉 実 | 夢トマト | 1988(昭和63) | 第38回県展佐賀県知事賞 |
| 7 安永真一 | 飛躍 | 1989(平成1) | 第39回県展佐賀県知事賞 |
| 8 松尾房利 | 一(イチグウ)隅 | 1990(平成2) | 第40回県展佐賀県知事賞 |
| 9 松本幸弘 | 早春 | 1991(平成3) | 第41回県展文部大臣奨励賞 |
| 10 古賀宣義 | 叢(クサムラ)のティタイム | 1992(平成4) | 第42回県展佐賀県知事賞 |

2. 佐賀県立美術館所蔵名品巡回展

名 称：「夏の美術館—海辺の散歩は河村美術館へー」

会 期：7月22日(金)～8月7日(日)

7月25日(月)、8月1日(月)は休館

観覧料：無料

会 場：(財)河村美術館

唐津市北城内 6-5

主 旨：佐賀県立美術館は県政百年記念事業の一つとして、昭和58年10月、佐嘉城三の丸跡に開館した。それまでの県立博物館の資料を受け継ぎ、日本を代表する近代美術を中心に作品の収集・展示を行ってきた。

こうした作品の数々は、当美術館の常設展で紹介してきたが、所蔵点数の多さと限られた展示期間の中では、県民の方々に十分ご覧いただけなかつた。

今回の巡回展は、財団法人河村美術館のご協力をえて、当美術館の展示室から、また収蔵庫からおもいきり飛び出し、所蔵する作品を地域の人々により深く知っていただき、美術作品の多様性とその鑑賞の楽しさを味わっていただくことを目的とした。

図 錄 A4版変形

全40頁 (カラー 8 頁)



名 称：「秋の美術館—名品でつづる日本近代洋画の流れー」

会 期：10月14日(金)～11月3日(木)

会期中無休

会 場：伊万里市民センター文化ギャラリー

伊万里市松島町391番地1

内 容：日本近代の代表的な洋画家である百武兼行、久米桂一郎、岡田三郎助らの作品をはじめ、山口亮一、北島浅一、御厨純一らの本県の先駆的な洋画家にあわせて、伊万里市出身の故山口猛彦、池田龍雄の作品を展示了。

講演会：講 師…佐賀新聞社報道部長 筒井泰彦氏
日 時…10月30日(日)

演 題…「佐賀の文化土壤」

図 錄：A4版変形 全40頁 (カラー 8 頁)

「名品巡回展」図録表紙



3. 企画展

名称：百花繚乱の世界—江戸・化政期の絵画—

会期：10月7日(金)～11月13日(日)

会場：美術館2～4号展示室

主旨：江戸時代後期文化の代名詞「化政文化」は明和・安永から天保までの半世紀におよぶ期間をさす。展覧会では化政文化の中核をなす化政期（文化、文政年間、1804～30）の絵画を展示することで、その状況を探ることを目的とした。

江戸と上方の浮世絵版画、長崎版画、銅版画、佐賀の化政期の画家の作品を含む、この時期の主要な画家75人の作品計137点を展示了。特に新旧様々な流派の画風の融合、西洋画法の摂取、大和絵や漢画の古典の研究などによって力強く時に華やかな作品を制作した谷文晁は、化政期を代表する画家であり11点を展示了。

画家と作品の選定には、流派や地域の区別も考慮したが、逆にそのような規定が徐々に薄らいでゆく時代であると考え、展示では新旧の二つの世代分けを試みた。つまり、文化元年を境に40歳以上を第一世代、それ未満を第二世代に分けてみると、化政期の華やかで力強い時代性を体现したのは第一世代の画家たちであったように思われた。

主な展示作家（出生順）：【第I世代】岡田米山人、浦上玉堂、森徂仙、司馬江漢、亜欧堂田善、岸駒、英一珪、仙厓、原在中、広瀬台山、狩野養川院、牛島若融、祇園井特、山口素綱、飼雲泉、葛飾北斎、矢野良勝、酒井抱一、谷文晁、中村芳中ほか【第II世代】渡辺南岳、青木木米、田中訥言、石崎融思、狩野素川、岡本豊彦、荒木如元、長谷川雪且、狩野伊川院、中林竹洞、森徹山、田能村竹田、林十江、浦上春琴、頼山陽、土佐光孚、渡辺鶴州、宋紫岡、住吉広尚、山本梅逸、菅井梅開、立原杏所、川原慶賀、谷文一、菊池容斎、住吉弘貫、鉄翁、渡辺華山、鈴木其一、狩野晴川院、木下逸雲、高橋草坪ほか【浮世絵版画】江戸絵：葛飾北斎、歌川豊国、歌川国丸、歌川国貞、歌川国芳、菊川英川、溪斎英泉、上方絵：春好斎北州、寿好堂よし国、戯画堂芦ゆき、青陽斎芦園、國広、柳斎重信、有楽斎長秀、長崎絵など【佐賀藩の画家】周幽斎夏龍、草場佩川、牛島藍臘ほか ※会期中、一部展示替えをおこなった。

図録：A4版変形（27×21センチ）

140頁（カラー48頁）

記念講演会：10月15日(土) 14:00～16:30

演題…化政文化の真髄

講師…東京教育大学名誉教授 西山松之助氏

会場…美術館ホール

聴講者…約300人

その他：展覧会解説ビデオ（約20分）を制作し会期中放映した。



記念講演会



展覧会ポスター

4. 普及活動

(1) 資料の刊行

「百花繚乱の世界—江戸・化政期の絵画—」
同名企画展にともない刊行。
カラー図版49頁、ほかモノクロ図版、解説など全
140頁。
A4版変形。
印刷部数 900部。

* 館報、年報、調査研究書については、博物館を参照。

(2) 実技講座

内 容：第1回石膏デッサン教室
講 師：佐賀東高等学校教諭 深川 直人氏
会 期：平成6年7月18日(月)～22日(金)
(5日間、午後2時～4時)
会 場：美術館研修室
受講者：32名

(3) 研究講座

記念講演会
演 題：「化政文化の真髄」
講 師：西山松之助氏
日 時：平成6年10月15日(土)
午後2時～4時
会 場：佐賀県立美術館ホール
聴講者：350人

(4) 館外普及活動

9月5日～10月10日 「百花繚乱の世界—江戸・化

政期の絵画—展」普及

(5) 映画会

平成6年度夏休み親と子の映画会
期 日：平成6年8月5日(土)・6日(日)
会 場：佐賀県立美術館ホール
上映時間：10:30～14:55
上映題目：「アンパンマンとバイキンマン」
「赤毛のアン(ダイアナの誕生日)」
「ニルスのふしきな旅」
「新・山ねずみロッキーチャック」
「ハイジ(ハイジと牧場)」
「あらいぐまラスカル」
「がんばれ五色桜」
参加者：222人(土)・262人(日)



「百花繚乱の世界—江戸・化政期の絵画—」図録

5. 資料調査（美術館）

平成6年

4月25日	企画展「百花繚乱の世界展」にともなり調査(栃木県～岡山県)	学芸員 福井 尚寿
5月18日	企画展「百花繚乱の世界展」にともなり調査(大分県大分市)	学芸員 福井 尚寿
5月28～31日	企画展「百花繚乱の世界展」にともなり調査(東京都、静岡県)	学芸員 福井 尚寿
6月7日	企画展「百花繚乱の世界展」にともなり調査(福岡県福岡市)	学芸員 福井 尚寿
6月14～18日	企画展「百花繚乱の世界展」にともなり調査(千葉県、東京都、兵庫県、岡山県)	学芸員 福井 尚寿
7月5日	企画展「百花繚乱の世界展」にともなり調査(長崎県平戸市)	学芸員 福井 尚寿
7月6日	企画展「百花繚乱の世界展」にともなり調査(熊本県熊本市)	学芸員 福井 尚寿
7月7日	企画展「百花繚乱の世界展」にともなり調査(佐賀県唐津市)	学芸員 福井 尚寿
12月21日	美術資料調査(福岡県福岡市)	学芸員 福井 尚寿

平成7年

3月8日	美術資料調査(佐賀県鹿島市・武雄市・北方町)
------	------------------------

学芸員 福井 尚寿

6. 展覧会観覧状況調べ

① 美術館主催事業

常 設 展	有 料				無 料			
	個 人		團 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
佐賀県の歴史と文化	2,115	113	94	24	1,292	40	680	1,987

企 画 展	有 料				無 料			
	個 人		團 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
百花繚乱の世界	2,676	109		191			574	1,667

合 計 (常設展+企画展)	4,791	222	94	215	1,292	40	1,254	3,654
------------------	-------	-----	----	-----	-------	----	-------	-------

② 県関係事業

展 覧 会 名	無 料					
	大 人	大 学	高・中・小	障 壱 者	招 待 券	優 待 券
第26回佐賀県労働者美術展	635		150			
第6回佐賀県高等学校文化祭美術・工芸展	704	103	741		20	
第6回佐賀県高等学校書道展	444	14	787			
合 計	1,783	117	1,678		20	

無 料				合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場
障 害	招 待	優 待	そ の 他					
267	96	37		6,745	124	54	4／1～3／31	

無 料				合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場
障 害	招 待	優 待	そ の 他					
43	1,608	21	146	7,035	33	213	10／7～11／3	2、3、4号
310	1,704	58	146	13,780	157	88		

合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
785	5	157	8／10～8／14	4号	県 労 政 能 力 開 発 課
1,568	5	314	9／21～9／25	2、3、4号	県 文 化 課
1,245	6	208	9／27～10／2	2、3、4号	県 文 化 課
3,598	16				

③県関係事業(美術館)〈有料〉

展覧会名	有 料				無 料			
	個 人		団 体		2 番 券		高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学	大 人	大 学		
第44回佐賀県美術展覧会	4,400	165	114				863	779
合 計	4,400	165	114				863	779

④民間団体主催事業〈有料〉

展覧会名	有 料							
	個 人				団 体			
	大 人	大 学	高 校	中・小	大 人	大 学	高 校	中・小
中島潔の世界展 —源氏物語のひとー	12,625		745	537		17		242
—鮮烈と耽歌美の世界— 古沢岩美展	4,165		174	6		184		265
第8回日洋展九州会場	1,902	145	37	146				62
バスキンとエコール・ド・パリ の異邦人たち展	6,696		408	282	21	20		488
合 計	25,533		1,364	971		242		1,057

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障 害	招 待	優 待						
	1,681		8,002	8	1,000	9／10～9／18 (土)	1,2,3,4号	佐賀県文化課
	1,681		8,002	8	1,000			

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
小 学	障 害	招 待						
	566	1,282	16,014	10	1,601	5／19～5／29 (木)	2、3 号	佐賀新聞社
		2,197	6,991	17	411	7／6～7／24 (水)	4 号	佐賀新聞社 (県補助事業)
		1,633	3,925	7	561	8／24～8／31 (水)	2,3,4号	"
		2,578	10,493	31	338	1／2～2／5 (月)	2,3,4号	"
	566	7,690	37,423	65	576			

⑤民間団体主催事業〈無料〉

展覧会名	大人 (大学生以上)	子供 (高校生以下)	合計
方言書画・宮本幹太展	288	22	310
HOT AIRBALOON 1992~1993	235	28	263
馬星華中国水墨画教室展	657	16	673
土筆展	317	34	351
藤井青雲・陶磁器のランプ展	296	0	296
佐賀大学教育学部 美術工芸科OB 86P展	295	65	360
子供たちの作品展	724	468	1,192
女六展	558	233	791
A I S 展 II 1994	721	303	1,024
皐月展	179	12	191
グループ鶴展	555	96	651
第22回 大空書道展	1,751	746	2,497
油絵個展	990	90	1,080
第7回 九州国画会佐賀支部写真展	2,156	227	2,383
きもの友禅染め旅情 「佐賀平野展」	935	1	936
梧竹・蒼海頭影 第2回佐賀県書道展(前期)	1,117	107	1,224
〃 (後期)	642	193	835
第77回 佐賀美術協会展	2,843	657	3,500
二科会佐賀支部絵画部展	486	78	564
デッサン教室	32	0	32
「へたくそ」絵画～立体作品展	681	142	823
第11回 佐賀県写真協会展	781	181	962
ペタ展	567	354	921
第25回 独立C S展	540	176	716
グループ展からうち	236	23	259
第26回 佐賀勤労者美術展	635	150	785

開館日数	一日平均	期間	会場	主催
6	52	3／29(火)～4／3(日)	画	宮本幹太
4	66	3／31(木)～4／3(日)	研	藤本義徳
6	112	4／5(火)～4／10(日)	画・研	馬星華中国水墨画教室(山口)
6	59	4／12(火)～4／17(日)	画	土筆会(園田)
6	49	4／19(火)～4／24(日)	画・研	藤井健介
6	60	4／26(火)～5／1(日)	画・研	佐賀大学教育学部美術工芸科 (石丸)
6	199	5／3(火)～5／8(日)	画	藤田新
6	132	5／3(火)～5／8(日)	研	島みのり
6	171	5／3(火)～5／8(日)	4号	平江潔
6	32	5／10(火)～5／15(日)	研	佐賀大学美術部(杉町)
6	109	5／17(火)～5／22(日)	画・研	グループ渴(野副)
6	416	5／17(火)～5／22(日)	4号	佐賀県書道教育連盟 米倉信義
6	180	5／24(火)～5／29(日)	画・研	織田五二七
6	397	5／24(火)～5／29(日)	4号	石崎政秋
6	156	5／31(火)～6／5(日)	画・研	おだに武士
3	408	6／3(金)～6／5(日)	2・3・4号	佐賀新聞社 社長中尾清一郎
3	278	6／8(木)～6／10(土)	"	"
10	350	6／23(木)～7／3(日)	2・3・4号	佐賀美術協会 理事長吉田進一
6	94	7／12(火)～7／17(日)	画・研	二科会佐賀支部(高柳)
5		7／18(月)～7／22(金)	画・研	佐賀県立美術館(福井)
6	137	7／26(火)～7／31(日)	画・研	西村知敏
5	160	7／27(水)～7／31(日)	4号	佐賀県写真協会 会長小野原文雄
6	154	8／2(火)～8／7(日)	画・研	佐賀北高(瀬戸口)
6	119	8／2(火)～8／7(日)	4号	光武洋
6	43	8／9(火)～8／14(日)	画	からうち(桃島)
5	157	8／10(水)～8／14(日)	4号	県労政能力開発課 課長松田公司

展覧会名	大人 (大学生以上)	子供 (高校生以下)	合計
第14回 創元会佐賀県支部展	530	127	657
福岡教育大学特設書道科 六県連合書作展	192	43	235
日洋会研究会	75	0	75
第15回 九州新工芸展	1,053	160	1,213
古稀記念絵画展	718	338	1,056
第6回 佐賀県高等学校文化祭 美術・工芸展	809	759	1,568
第6回 佐賀県高等学校文化祭 書道展	458	787	1,245
白水会展	740	32	772
第16回 白陽会展	723	65	788
王国偉・鮑磁堅 中村秀一絵画展	711	66	777
グループ萌文化活動展示	92	57	149
ラブジニアース 児童作品展	263	45	308
第3回 江樹会展	635	42	677
「火曜日の画家たち」会員作品展	596	8	604
第25回 グループ「きしま」展	522	32	554
第8回 佐賀苔松会展	551	6	557
アクワレル会 水彩油彩展	478	21	499
第19回 佐賀県書作家協会展	1,368	243	1,611
障害者の美術展	1,929	245	2,174
第14回 二科会九州支部写真部公募展	952	112	1,064
新構造佐賀支部展	543	259	802
第35回 佐賀県学童美術展	1,836	1,638	3,474
佐賀県高等学校美術教師作品展	364	222	586
第15回 佐賀新聞学生書道展	381	268	649
しゃしんのほんの一てん	220	45	265
第35回 東光会佐賀支部緑光展	606	252	858

開館日数	一日平均	期間	会場	主催
6	109	8／16(火)～8／21(日)	4号	創元会佐賀支部 支部長 森永繁
4	58	8／18(火)～8／21(日)	画・研	福教大特設書道科 六県連合会(筒井)
1	75	8／24(水)	画・研	日洋会(吉田)
6	202	8／30(火)～9／4(日)	画・研	九州新工芸家連盟(宮尾)
6	176	9／20(火)～9／25(日)	画・研	真島健児郎
5	314	9／21(水)～9／25(日)	2・3・4号	佐賀県文化課 課長市丸利幸
6	208	9／27(火)～10／2(日)	2・3・4号	"
6	129	9／27(火)～10／2(日)	画・研	白水会(早瀬)
7	112	10／4(火)～10／10(月)	画	白陽会(藤井)
7	111	10／4(火)～10／10(月)	研	中村秀一
3	50	10／18(火)～10／20(木)	画	グループ「崩」(松尾)
3	103	10／28(金)～10／30(日)	画・研	ラブジアース児童作品展運営 委員会(犬走)
6	113	11／1(火)～11／6(日)	画・研	江樹会(深川)
6	101	11／8(火)～11／13(日)	画・研	北島省己
6	92	11／15(火)～11／20(日)	画・研	古賀義治
4	139	11／17(木)～11／20(日)	4号	松永豊秀
6	83	11／22(火)～11／27(日)	画・研	アクワレル会(龍)
6	269	11／22(火)～11／27(日)	4号	佐賀県書作家協会 渡辺晃
6	362	11／29(火)～12／4(日)	画・研	県社会援護課(松尾)
6	177	11／29(火)～12／4(日)	4号	二科会写真部佐賀支部 藤田正次
6	134	12／6(火)～12／11(日)	画・研	新構造佐賀支部(馬場)
6	579	12／6(火)～12／11(日)	4号	佐賀県造形教育研究会 会長深草廣平
6	98	12／13(火)～12／18(日)	画・研	佐賀県高等学校 美術部会(野田)
6	108	12／13(火)～12／18(日)	4号	佐賀新聞社 社長中尾清一郎
6	44	12／20(火)～12／25(日)	画・研	初山正和
6	143	12／20(火)～12／25(日)	4号	緑光会 下村康二

展 覧 会 名	大 人 (大学生以上)	子 供 (高校生以下)	合 計
第 19 回 黄 美 展	109	15	124
個 展 “縁95”	113	21	134
埋 蔵 文 化 財 研 究 集 会	180	0	180
第 30 回 佐 大 O B 合 同 書 道 展	104	21	125
舟 一 朝 と 百 人 の 子 供 展	452	372	824
佐賀県高等学校 書道 教師書作展・高校生臨書展	361	291	652
彫 刻 集 団・佐賀第9回展	421	59	480
佐 賀 の 子 ど も た ち の 版 画 展	1,059	901	1,960
第 17 回 さ が 行 動 展	573	239	812
第 9 回 総 合 美 術 ハ チ ロ ク 展	1,284	425	1,709
第 1 回 佐賀大学大学院教育学研究科美術教 育専修修了制作展	751	179	930
第 39 回 佐賀大学教育学部美術・工芸科卒業 制作展	846	296	1,142
地 域 一 番 展	58	5	63
渡辺松坡と佐賀北高芸術コース書道の教え子達展	1,615	326	1,941
猪 口 才 展	265	78	343
吉 田 進 一 退 官 記 念 展	966	180	1,146
第 36 回 佐賀大学教育学部美術・工芸科総合展	520	247	767
〃	541	256	797
第 17 回 二 紀 佐 賀 支 部 展	534	70	604
第 18 回 絵 を か く 子 供 の 会 展	374	282	656
梶 木 の 会 展	877	42	919
第 11 回 佐 賀 水 墨 画 会 展	559	21	580
計	49,092	14,600	63,692

開館日数	一日平均	期間	会場	主催
4	31	1／5(木)～1／8(日)	画・研	黄美会(平江)
6	22	1／10(火)～1／15(日)	画	吉丸 崇
2	90	1／14(木)～1／15(日)	研	埋蔵文化財研究会(蒲原)
5	25	1／18(土)～1／22(日)	画・研	尾田 恵子
6	137	1／24(火)～1／29(日)	画	舟 一朝
6	109	1／24(火)～1／29(日)	研	佐賀県高等学校 書道教育研究会(山口)
6	80	1／31(火)～2／5(日)	画・研	彫刻集団・佐賀(井形)
6	326	2／7(火)～2／12(日)	画・研	佐賀縁の会(橋本)
5	162	2／8(火)～2／12(日)	4号	さが行動展 下村 武敏
5	341	2／15(水)～2／19(日)	4号	総合美術ハチロク展 代表 古賀 喜久男
6	155	2／21(火)～2／26(日)	画・研	佐賀大学教育学部(成富)
6	191	2／21(火)～2／26(日)	4号	佐賀大学教育学部 部長 米倉 利昭
4	15	2／28(火)～3／3(金)	画	佐賀大学美術部(村瀬)
6	323	2／28(火)～3／5(日)	4号	佐賀北高等学校 校長 佐久間 穂
6	57	3／7(火)～3／12(日)	研	宮後 ふみ
6	191	3／7(火)～3／12(日)	4号	九州龍谷短期大学 学長 立花 憲二
6	127	3／14(火)～3／19(日)	画・研	佐大教育学部美術科(大鶴)
6	132	"	4号	佐大教育学部 部長 米倉 利昭
6	101	3／21(火)～3／26(日)	4号	二紀佐賀支部 代表 上瀧 泰嗣
5	131	3／22(水)～3／26(日)	画・研	山崎 佳須枝
6	153	3／28(火)～4／2(日)	画・研	梶木の会(大久保)
4	145	3／28(火)～4／2(日)	4号	佐賀水墨画会 野方 翠芳
409				

7. ホール・画廊・研修室

ホール

月別	利用団体数	延入場者数	音 楽	演 劇	洋舞・邦舞	映写会	その他	備 考
4	8	1,576	8					
5	10	2,788	7				3	
6	9	2,899	5	1			3	
7	8	3,357	7				1	
8	10	2,863	7			2	1	
9	11	5,030	4	3			4	
10	12	3,206	8		1	.	3	
11	17	5,120	11	3			3	
12	8	2,545	4	1	1		2	
1	5	1,942	3		1		1	
2	7	1,734	3	3			1	
3	16	4,316	12	2			2	
計	121	37,376	79	13	3	2	24	

画廊・研修室

月別	展覧会			そ の 他
	利用団体数	延会期数	入場者数	
4	6	29	2,158	
5	5	32	3,956	
6	1	5	888	
7	3	17	1,387	
8	5	19	2,053	
9	2	16	2,116	
10	4	22	2,384	
11	5	26	3,171	
12	3	22	2,990	
1	7	30	2,084	
2	3	18	3,335	
3	4	24	2,309	
計	48	260	28,831	

資料の概要



1 F-20-6

ラファエル・コラン Louis Joseph Raphael Collin
1850~1916
日だまり
Sunny Side
1896(明治29)
油彩・カンヴァス 60.0×81.5
右下「R-COLLIN-1896-」
平成6年度 購入 9524



2 F-20-3-1

小代為重 SHŌDAI,Tameshige
1861~1951
日傘の婦人のいる風景
Scene of a Woman with Parasol
1890(明治23)
油彩・板 42.8×33.5
左下「小代為重寫/二十三年七月」
平成6年度 購入 9523



3 F-20-3-1

岡田三郎助 OKADA,Saburosuke
1869~1939
子持山
Mt.Komochiyama
1934(昭和9)
油彩・カンヴァスボード 23.8×33.0
右下「呈/西窓先生/岡田.三/昭和/九.三.」
平成6年度 寄贈(管理換) 9543



4 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA,Teruo
1900~1982
自画像
Self-portrait
1920(大正9)
油彩・カンヴァス 90.6×72.8
画布裏「自画像/田原輝夫」
平成6年度 寄贈 9564



5 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA,Teruo
1900~1982
静物
Still life
1920(大正9)
油彩・カンヴァス 64.8×90.6
「Teruwo Tahara/1920」
平成6年度 寄贈 9565



6 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA,Teruo
1900~1982
静物
Still life
1922(大正11)
油彩・カンヴァス 80.2×100.8
右上「TERUWO/1922」
平成6年度 寄贈 9566



7 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
習作(裸婦立像)
Study: Standing nude
1925(大正14)
油彩・カンヴァス 72.5×53.0
「1927/TERUWO」
平成6年度 寄贈 9567



8 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
習作(裸婦立像)
Study: Standing nude
1926(昭和1)
油彩・カンヴァス 80.2×60.7
画布裏「習作一九二六年/研究所にて 輝」
平成6年度 寄贈 9568



9 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
習作(仰向けの裸婦)
Study: Reclining nude
1926(昭和1)
油彩・カンヴァス 53.0×72.5
画布裏「田原/大正/習作一九二六年/研究所にて/輝」
平成6年度 寄贈 9569



10 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
婦人像
Portrait of a woman
1927(昭和2)
油彩・カンヴァス 99.8×80.3
左上「1927/TERUWO」
平成6年度 寄贈 9570



11 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
卓上
On the table
1927(昭和2)
油彩・カンヴァス 90.9×91.0
左下「1927/TERUWO」
平成6年度 寄贈 9571



12 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
日向葵
Sunflowers
1928(昭和3)
油彩・カンヴァス 116.5×91.3
右上「-TERUWO-/Showa 3 nen, 9」
平成6年度 寄贈 9572



13 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
習作(坐裸婦)
Study: Seated nude
1928(昭和3)
油彩・カンヴァス 90.6×72.8
左上「昭和三年四月/田原」
平成6年度 寄贈 9573



14 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
青布を配す
On blue clothe
1930(昭和5)
油彩・カンヴァス 132.0×112.5
右下「Tahara Teruwo/Showa 5 nen.」
平成6年度 寄贈 9574



15 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
厨房菜果(蔬菜圖)
Vegetables in the kitchen
1933(昭和8)
油彩・カンヴァス 111.8×130.0
右隅「葵酉 騎夫筆」
平成6年度 寄贈 9575



16 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
壁
On the wall
1933(昭和8)
油彩・カンヴァス 64.9×80.0
右下「—1 Showa 8 nen. Tahara-Teruwo—」
平成6年度 寄贈 9576



17 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
椅子上の菜果
Vegetables on the chair
1935(昭和10)
油彩・カンヴァス 116.5×91.0
右隅「昭和十年 輝夫筆」
平成6年度 寄贈 9577



18 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
閑庭
Calm garden
1936(昭和11)
油彩・カンヴァス 130.3×162.0
右下「昭和十一年/輝夫」
平成6年度 寄贈 9578



19 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
椅上の菜果
Vegetables on the chair
1936(昭和11)
油彩・カンヴァス 116.6×91.0
左上「輝夫筆」
平成6年度 寄贈 9579



20 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
出漁の前
Before the going fishing
1939(昭和14)
油彩・カンヴァス 91.3×117.2
右下「Showa 14 nen/Tahara-Teruwo」
平成6年度 寄贈 9580



21 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
二王
Ni-ō:vajrapani
1940(昭和15)
油彩・カンヴァス 90.8×116.0
左下「輝夫筆」
平成6年度 寄贈 9581



22 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
画室
Atelier
1941(昭和16)
油彩・カンヴァス 111.8×130.0
左上「昭和十六年九月 輝夫」
平成6年度 寄贈 9582



23 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
闘魂燃ゆ
Fighting Spirits
1944(昭和19)
油彩・カンヴァス 90.9×116.2
西布裏「闘魂燃ゆ/大東亜展/昭和十九年」
平成6年度 寄贈 9583



24 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
熱風渴まく
Steam Machine Workers
1944(昭和19)
油彩・カンヴァス 91.2×116.2
右下「輝夫筆」
平成6年度 寄贈 9584



25 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
厨房
Kitchen
1945(昭和20)
油彩・カンヴァス 91.0×116.5
右上「輝夫作」
平成6年度 寄贈 9637



28 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
仁王(下絵)
Ni-ō:vajrapani (underdrawing)
1948(昭和23)
油彩・カンヴァス 116.5×91.0
画布裏サインあり
平成6年度 寄贈 9587



26 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
水温心頃
Early Spring
1947(昭和22)
油彩・カンヴァス 91.0×116.8
右下「輝夫筆」
平成6年度 寄贈 9585



29 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
ひととき
Resting Time
1948(昭和23)
油彩・カンヴァス 116.4×80.3
右下「輝夫筆」
平成6年度 寄贈 9588



27 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
白い椅子
White Chair
1947(昭和22)
油彩・カンヴァス 80.3×100.0
左上「輝夫」
平成6年度 寄贈 9586



30 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
読書
Reading
1949(昭和24)
油彩・カンヴァス 116.3×90.9
左隅「昭和二十四年/輝夫筆」
平成6年度 寄贈 9589



31 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
裸婦習作
Nude, study
1949(昭和24)
油彩・カンヴァス 99.5×80.5
右上「輝夫」
平成6年度 寄贈 9590



32 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
石膏像など
Plaster statue and etc.
1949(昭和24)
油彩・カンヴァス 80.3×100.0
右隅「輝夫」
平成6年度 寄贈 9591



33 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
北国の家
House in the north country
1949(昭和24)
油彩・カンヴァス 80.4×100.0
右下「輝夫」
平成6年度 寄贈 9592



34 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
マダム F (追想)
Madame F : memory
1950(昭和25)
油彩・カンヴァス 130.1×162.0
左上「輝夫/昭和二十五年作」
平成6年度 寄贈 9593



35 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
觀音菩薩
Kannon-bosatsu Avalokitesvara
1951(昭和26)
油彩・カンヴァス 162.3×97.1
右下「昭和二十六年完成/輝夫筆」
平成6年度 寄贈 9594



36 F-20-2-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
仁王
Ni-ō:Vajrapani
1952(昭和27)
油彩・カンヴァス 161.5×130.1
左下「昭和二十七年/輝夫」
平成6年度 購入 9638



37 F-20-3-1
田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
阿
A
1954(昭和29)
油彩・カンヴァス 129.9×162.0
右下「昭和二十九年/輝夫」
平成6年度 寄贈 9595



40 F-20-3-1
田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
力
Force
1956(昭和31)
油彩・カンヴァス 130.0×111.5
右上「昭和三十一年/輝夫」
平成6年度 寄贈 9598



38 F-20-3-1
田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
A子像
Portrait of Miss A
1954(昭和29)
油彩・カンヴァス 99.7×80.1
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9596



41 F-20-3-1
田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
神将
Sinshō: divine general
1957(昭和32)
油彩・カンヴァス 116.2×90.5
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9599



39 F-20-3-1
田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
N子像
Portrait of Miss N
1954(昭和29)
油彩・カンヴァス 100.0×80.3
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9597



42 F-20-3-1
田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
不空羈索觀音
Fukukensaku-kannon: Amoghapasa
1958(昭和33)
油彩・カンヴァス 193.8×129.7
右下「輝 昭和三十三年」
平成6年度 寄贈 9600



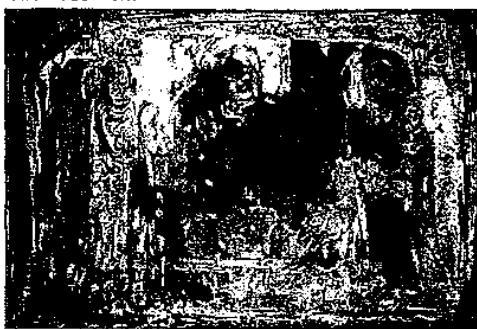
43 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
天燈鬼
Lantern goblin
1959(昭和34)
油彩・カンヴァス 129.5×112.0
右下「輝 1959」
平成 6 年度 寄贈 9601



44 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
薬師如來
Yakushi-nyorai: Bhaisajyaguru
1959(昭和34)
油彩・カンヴァス 99.3×80.3
右下「昭和三十四年 輝」
平成 6 年度 寄贈 9602



45 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
三尊
Yakushi-sanzzon: Yakushi triad
1960(昭和35)
油彩・カンヴァス 97.0×145.4
右下「輝 1960」
平成 6 年度 寄贈 9603



46 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
伎芸天
Gigei-ten: Deva of the arts
1960(昭和35)
油彩・カンヴァス 99.7×79.8
右下「輝 1960」
平成 6 年度 寄贈 9604



47 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
阿弥陀三尊(阿弥陀)
Amida-sanzzon(trinity): Amitabha
1961(昭和36)
油彩・紙(板裏打) 136.7×91.2
右裏サインあり
平成 6 年度 寄贈 9605-1



48 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
阿弥陀三尊(觀音菩薩)
Amida-sanzzon(trinity): Avalokitesvara
1961(昭和36)
油彩・板(紙裏打) 121.5×61.0
右下「輝」
平成 6 年度 寄贈 9605-2



49 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900～1982
阿弥陀三尊(勢至菩薩)
Amida-sanzon(trinity): Mahasthamaprapta
1961(昭和36)
油彩・板(紙裏打) 121.4×61.0
桜裏サインあり
平成6年度 寄贈 9605-3



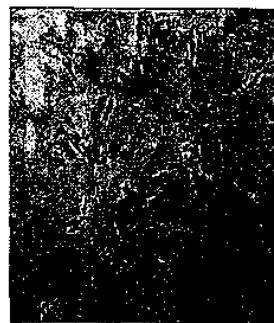
50 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900～1982
法悅
Ecstasy
1961(昭和36)
油彩・カンヴァス 145.0×111.7
左下「輝 1961」
平成6年度 寄贈 9606



51 F20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900～1982
慈光
Light of Love
1962(昭和37)
油彩・カンヴァス 145.0×96.0
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9607



52 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900～1982
慈心
Heart of Love
1963(昭和38)
油彩・カンヴァス 129.2×112.0
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9608



53 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900～1982
月光
Gakko-bosatsu: Chandraprabha
1963(昭和38)
油彩・カンヴァス 145.5×97.0
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9609



54 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900～1982
薩埵
Bosatsu: Bodhisattva
1964(昭和39)
油彩・カンヴァス 145.5×96.8
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9610



55 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
吉祥天（東大寺三月堂）
Kichijo-ten: Mahasri, Todaiji temple
1964(昭和39)
油彩・キャンバス 90.3×60.5
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9611



58 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
麻布菩薩（毘日か）
Bosatsu: Bodhisattva on canvas
1966(昭和41)
油彩・キャンバス 116.5×91.0
左上「輝」
平成6年度 寄贈 9614



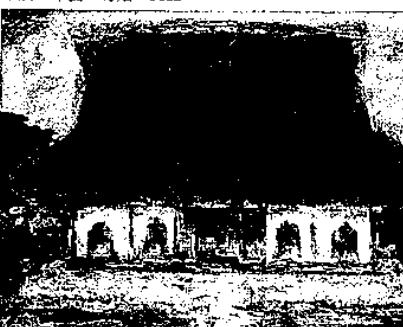
56 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
宝冠
Hokan: jewelled crown
1965(昭和40)
油彩・キャンバス 129.7×113.0
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9612



59 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
神将
Sinshō: divine general
1966(昭和41)
油彩・キャンバス 130.0×112.3
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9615



57 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
残照
Evening light
1965(昭和40)
油彩・キャンバス 112.4×144.7
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9613



60 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
神将
Sinshō: divine general
c.1966(昭和41)
油彩・キャンバス 130.8×111.9
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9616



61 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
余香(弁財天)
Scent of Benzai-ten: Sarasvati
1967(昭和42)
油彩・カンヴァス 145.5×97.0
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9617



62 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
飛天
Hitens: Apsaras in flight
1968(昭和43)
油彩・カンヴァス 130.0×112.5
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9618



63 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
天平の仏
Buddha in Tempyo era
1969(昭和44)
油彩・カンヴァス 130.4×112.5
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9619



64 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
勅額門
Chokugaku-mon gate
1970(昭和45)
油彩・カンヴァス 145.3×97.0
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9620



65 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
勢至
Seisi bosatsu: Mahasthamaprapta
1972(昭和47)
油彩・カンヴァス 131.5×112.0
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9621



66 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
觀音
Kannon-bosatsu: Avalokitesvara
1973(昭和48)
油彩・カンヴァス 129.3×112.6
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9622



67 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
大日山石仏
Stone Buddhas in Dainichiyama
1977(昭和52)
油彩・カンヴァス 112.2×130.4
右上「輝」
平成6年度 寄贈 9623



68 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
阿弥陀と觀音
Amida-nyorai and Kannon-bosatsu
1978(昭和53)
油彩・カンヴァス 90.8×60.8
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9624



69 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
九品の弥陀
Nyorai in kubon: sign in nine grade
1979(昭和54)
油彩・カンヴァス 145.6×97.0
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9625



70 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
鮭
Salmons
年代不詳
油彩・カンヴァス 80.0×60.5
右下「輝夫」
平成6年度 寄贈 9626



71 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
静物
Still life
年代不詳
油彩・カンヴァス 80.0×99.7
右上「輝夫」
平成6年度 寄贈 9627



72 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
婦人像
Portrait of a woman
年代不詳
油彩・カンヴァス 116.0×90.5
右上「輝夫」
平成6年度 寄贈 9628



73 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
不動明
Fudō-myō-ō Acalanatha
年代不詳
油彩・カンヴァス 80.9×100.5
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9629



74 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
菩薩半跏
Bosatsu Bodhisattva half-lotus
年代不詳
油彩・カンヴァス 90.7×72.4
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9630



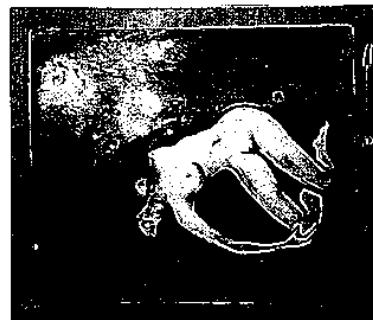
75 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
多聞天
Tamon-ten, Vaisravana
年代不詳
油彩・カンヴァス 99.7×80.2
左下「輝」
平成6年度 寄贈 9631



76 F-20-3-1

田原輝夫 TAHARA, Teruo
1900~1982
石仏
Stone Buddha
年代不詳
油彩・カンヴァス 145.8×96.8
右下「輝」
平成6年度 寄贈 9632



77 F-20-3-1

古沢岩美 Furusawa, Iwami
1912~
裸婦(パレット)
Nude on Parett
1973(昭和48)
油彩・板 37.0×45.3
右下「Iwami-f LXXIII」
平成6年度 寄贈 9525



78 F-20-3-1

古沢岩美 Furusawa, Iwami
1912~
アトリエの自画像
Selfportrait in Atrier
1994(平成6)
油彩・カンヴァス 72.7×53.0
右下「Iwami-f XCIV」
平成6年度 寄贈 9526



79 F-20-3-1

石本秀雄 ISHIMOTO, Hideo
1900~1982
冷たい朝
In the cold morning
1951(昭和26)
油彩・カンヴァス 116.5×91.1
左下「H. Ishimoto」
平成 6 年度 購入 9634



1 F-20-3-2

古沢岩美 Furusawa, Iwami
1912~
裸婦 (右膝を立てる)
Nude
1987(昭和62)
紙・コント・白チョーク 75.0×54.9
右下「Iwami, f 24Sep. LXXXVII」
平成 6 年度 寄贈 9527



1 F-40-1

石田英一 ISHIDA, Eiichi

1876~1960

鍛金置物 布袋像

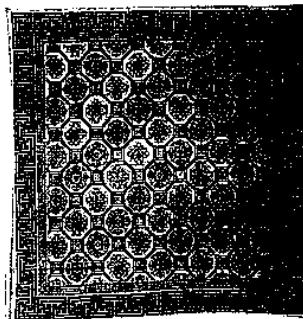
Figure of Pu-tei

c.1905~11(明治38~44)

銅・鍛造 21.4×15.6×14.2 H

背面影銘「英一」

平成6年度 寄贈 9537



1 F-40-5

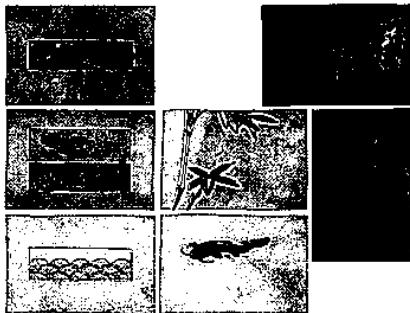
堺編通 亀甲に唐花詰文

Sakai-dantsu:peony scroll

明治~大正時代

木綿・手織・二疊物 191.5×181.0

平成6年度 寄贈 9636



2 F-40-1

松尾忠次 MATSUO, Tadatsugu

1909~

彫金手板 (1組6枚)

Metalwork Studies

c.1932~35(昭和7~10)

銅・彫金・象眼 6.0×9.1

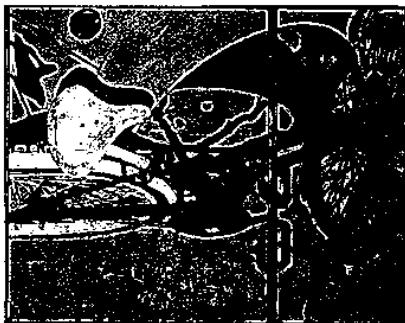
一枚に影銘「忠次」

平成6年度 寄贈 9538



1 F-10-1

諸田和子 MOROTA,Kazuko
1941～
岑參詩 (しんしんし)
Poem of China
1994(平成 6)
紙本墨書き 231.0×52.3
第44回県展県知事賞
平成 6 年度 管理換 9532



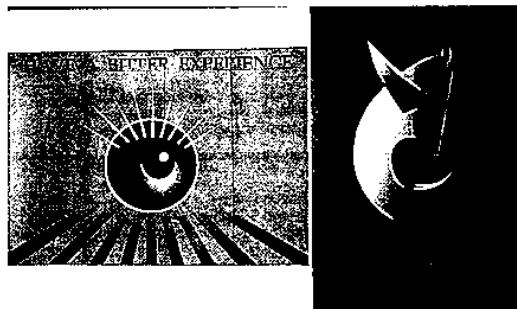
2 F-20-2-1

今村堅一 IMAMURA,Kenichi
1966～
天気図
Weather Chart
1994(平成 6)
岩絵具・紙 119.8×149.6
第77回美協展鍋島報效会賞
平成 6 年度 管理換 9535



3 F-20-3-1

下村康二 SHIMOMURA,Yasuji
1950～
叫び
Screaming
1994(平成 6)
油彩・カンヴァス 145.6×145.6
第44回県展文部大臣奨励賞
平成 6 年度 管理換 9536



4 F-20-0

近藤吉豊 KONDO,Yoshitoyo
1962～
HAVE A BITTER EXPERIENCE
Cause and Effect
1994(平成 6)
デザイン 72.9×103.0,103.0×72.9
第44回県展県知事賞
平成 6 年度 管理換 9533



5 F-30-0

森田雅巳 MORITA,Masami
1975～
フードをかぶった男
Man on the Hood
1994(平成 6)
樹脂 H55.0
第44回県展県知事賞
平成 6 年度 管理換 9534



6 F-50

江口弘樹 EGUCHI,Hiroki
1965～
夏の日
One Summer Day
1994(平成 6)
写真 53.0×42.2
第44回県展県知事賞
平成 6 年度 管理換 9531

資料の貸し出し状況

資料名	貸出先・目的	
山口亮一「わら屋」ほか 30点	唐津市近代図書館・佐賀美術協会展	H 6.5.11~6.7
佐伯祐三「八百屋」ほか 3点	岡山県立美術館・1920年代パリの日本人画家	H 6.8.30~10.20
立石春美「華岡青洲の妻」 1点	市川市東着野 立石秀春・日展出品	H 6.10.1~12.10
野村昭嘉作品 15点	目黒区美術館・野村昭嘉展	H 6.11.29~H 7.1.28
下村康二「叫び」 1点	神埼郡神埼町 下村康二・安井賞出品	H 6.12.2~H 7.1.15
吉田進一「自画像」ほか 8点	佐賀郡川副町 吉田進一・吉田進一退官記念展	H 7.3.6~3.12

購入図書

図書名	発行所
高橋由一油画の研究	中央公論美術出版
幕末 写真の時代	筑摩書房
戦国時代狩野派の研究	吉川弘文館
幕末・明治の生活風景	東方総合研究所

博物館・美術館職員名簿(平成7年4月1日現在)

課名	職名	氏名	課名	職名	氏名
総務課 庶務管理係	館長	深川 弘一	学芸課 芸芸企画普及係	学芸課長	中牟田 賢治
	副館長	森 醇一朗		資料係長	蒲原 宏行
	総務課長 (庶務管理係長事務取扱)	大園 進		主査 (学芸員)	福井 尚寿
	専門員	一丸 正美		主事	中原 正登
	主査	小林 静枝		主事 (学芸員)	山崎 和文
	主査	古賀 タミ子		非常勤嘱託	今川 泰靖
	主事	石橋 邦広		企画普及係長	松本 誠一
	事務員	坂井 卓次		主査 (学芸員)	宇治 章
	事務員	小石 武彦		主査 (学芸員)	川副 義敦
	技術員	近藤 誠徃		主事 (学芸員)	竹下 正博
	非常勤嘱託	牟田 壽吉			
計 21名					

佐賀県立博物館 年報 第25号
佐賀県立美術館

発行年月日 平成7年8月31日
編集・発行 〒840 佐賀市城内1-15-23
Tel. 0952-24-3947

佐賀県立博物館
佐賀県立美術館
印刷 サガプリントインテイク株式会社
〒840 佐賀市天神1-2-33